事務	事業	(名	老人いきがし	ハ対	衰事業	(高	齢者	作品原	艮)							事	業期間	間	平成		~		年	度	整理番	号	03010	404
担当	当部	署	健康福祉部			地	域福	祉推進	進課		高	齢者	• 介	雙保院	食係	作	成担当	当者:	名	伊	藤	浩	志		連絡统	ŧ	337	l
			プランに 位置づけ	有	政策	策 体	系	政 施 細 が 事務		01 01 04 06	第福		福花	止2 D予	こ支える 1 ビー: 方の推済 対策事	ナス 進							づく	IJ				
計	予	算	事 業 名	老人	いき	がいす	対策	業費		1								4	会計=	1 — F	00	1 🗼	欠 03	項	01	目	04 事業	02
画			· 業の概要 _{わかりやすく)}																						た作品。 と関心		示する める。	تځ
			と背景うして)		者作。				り生	きがい	とそ	の質	を高	める	ととも	に、	高齢	者の	相互	交流	を活動	絶にす	ける。	ま	た市民の	の高	齡者福	祉に
(目	対	受益者 (誰のために)	高齢		この	事業	こおい	て60	歳以上	.の	きをい	う。)														
P		象	対象 (直接働きかける)	向工	•																							
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	まり	介護	予防:	も期待	すでき	る。											る 。	また、	作品	温展に	-出4	品する	٤=	で意欲	が高
L				広報	ちの	を通り	じ広ぐ	作品	を募集	集し、	出品	はされ	た作	品を	一般に	公員	月発表 了	する	•									
Α			・ 方 法 やって)																									
			行政活動の紀	結果7	からつ	くり	だす	ものに	は何?	指	i :	標	名	称	単	位	算出力	方法	・計	算式	・目	票値	没定0	の考	え方な	ど	最終目	標値
N	評	活動	高齢者作品	展を	開催す	-る				作品	展開	催回	数			l	実際に	作	品展	を開作	置した	回数	(実	績)				1
	価	指標	高齢者作品	展に作	作品を	出展	して	もらう	5	作品	出展	数			品	•	実際に	出,	品され	た出	展数	(実	續)					40
)	担標の		作品を見て	ŧ6	5					アン	ケー	- ト 回	収数		i		作品用 トロル				神者に	お願	いし	たア	'ンケー			11
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	i :	標	名	称	単	位	算出力	方法	• 計	算式	・目	票値	没定(の考	え方な	٤	最終目	標値
	成	果指	多くの作品	が出り	展され	る				対前	年比	作品	展出	品率	%	5	対前年	比										100
		標																										

	項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	事 業 費 等	(a)	円	9, 900	5, 556	15, 066	25, 758	31, 000
貝	★ 国庫支出	金	円					
実源	┰│ 県 支 出	金	円					
<i>"</i>	、 地 万	債	円					
	ての他特定別	源	円					
訂		源	円	9, 900	5, 556	15, 066	25, 758	31, 000
施職	職 正規職	員	人	0. 06	0. 06	0. 06	0. 06	0. 06
į	。│嘱 託 職	員	人					
	. 踹 時 堰	員	人					
状	П	計	人	0.06	0.06	0. 06	0.06	0. 06
	対象 (者)	数						
	延利用(者)数	(b)						
	単位コスト(a)/	(b)	円	_	_	_	_	_
況	受益者負担	額	円					
	市民一人当たりのコス		円	0.00	0.00	0.00	0.00	9. 00
	/	目標]			
	作品展開催回数	実績		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
一 污	手	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
重排	b	目標	品	22	12	46	40	40
#	作品出展数	実績		22	12	46	51	51
D 桐		達成率	%	100.00	100.00	100.00	127. 50	127. 50
12		目標	通	19 19	12 12	<u>11</u>	11	
	アンケート回収数	実績	07	100, 00	100, 00	100.00	5 45, 45	_
_		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100	100
O 月	対前年比作品展出品率	目標 実績	%	31	55	383	51	100
身	N 对例平比F的放出的平	達成率	%	30, 98	54, 54	383. 00	51, 00	100.00
し措	<u>د</u>	目標	90	30. 90	04. 04	303.00	31.00	100.00
<u> </u>	目	実績	_					
付	示	達成率	%	_	_	-	_	
	 市民プランの細施策にお			*車務車業である。				
備	# 「ルベノノノの胸心鬼にた	, u · C 13	e equation to	*〒177 デ ホ くのつ。ハ		面づいいといい		
基	-							

		業名 老人			策事業	(高	冷者作	1展)						틕	業期	間 平月		~	:	年度	整理番号	030	10404
担	当 部	署健康	福祉	部		地地	ず福祉:	推進課		高齢	者・介護	雙保院	食保	1	F成担 ≌	当者名	伊	藤	浩	志	連絡先	3	37
	期			F	標						3	実 ;	績							課	題		
깯	第	特になし	•		1 1 1				特になし	•		~ '	isc				特にな	:L			K.E.		
*		特になし	•						特になし	•							特にな	:L					
期ご	第 3 期	広報50 らせと¶				乍品展	開催の	お知	長宛文	に高	12月号、 覧)、ビー 齢者作品	ーナチ	ャ	ンネルゴ	て字放	送に	特にな	L					
٤	第 4 期	高齢者の		を実施	し、多く	の市」	民に鑑賞	置して	平成29年 開催する		23日〜2 [*] 名の市民								人2点ま 呼び掛!		出品可能と	:し、区	長宛
Ø										事	中		評	価									
••									た問題点			_ =		或 拡	<u>, </u>	充		2		(5	7	
		、出品す				ている	ため、	より多く	の出品を	目指	して、市	後	. -	果 の 現	1状維	···········		(3) レ	(6	9	
管	^	* 0 / 1 1 / 1	,, <u>,,,</u> .	460										<u>~</u>							_	ļ	
		÷r /			I	<i>7 h</i> r =	- -	Ŧ /¬L	++ ¬L ÷	←		σ,	 	句		小 小		4		Q	B)	10	
理	過去								革・改善 求を行い			方	ī 1	生 <u>材</u>	· 廃 .	止 (D						
			51241	4H 3A 77	2 00.			, 31 × .	NE 110 1			向]				皆	減	宿 !	Jv :	現状維持	拡	大
												性	=				コ	ス	ト 投	入	の方	向	性
	_			•			1																
	_	评価年 月	Ę.	妥	4年度 当		<u></u> 性		有	対			効	率	ıh	<u>±</u>	総	合	·評価	判	定		
		の観点	1	x	3	4	<u>に</u> 判定	2 1	1 2	3	4	生 判:	÷	1	2	3	1 4 1	判定	形态		計加	+1	足
評		ェック	<u> </u>		<u> </u>		2	+	<u>ν</u>	Ů	'	2		<u>'</u>		<u>ر</u>		3			C		
価 (C	課題	75. 塞	多寿彰	を廃止	したこ	トが	夏田と:	書えら	減少し続 れる。し が増えた	かし.	いた。- 、平成2	- 人- ≀7年B	一度が	の出品	を制限 二点 ま	見した で出	こと、	およして、	記号の定義前年	B: B	画どお当 ・が適進を ・が必要が ・対のでは ・が必要が ・対のででででいる。 ・対のででででいる。 ・対のでででできます。 ・対のででできます。 ・対のででできます。 ・対のでできます。 ・対のでできます。 ・対のできます。 ・対のできます。 ・対のできます。 ・対のできます。 ・対のできます。 ・対のできます。 ・対のできます。 ・対のできます。 ・対のできます。 ・対のできます。 ・対のできます。 ・対のできます。 ・対のできます。 ・対のできます。 ・対のできます。 ・対のできます。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	に改善 容・実 休・廃	が必要 施主体 止の検 C
н			細	挽	į	策		評	価		前			紐		施	:	策	評		価	後	
E C K)			もいる 業実施	ため、	生きが性はあ	いの・	-つに·		活動を行 ていると 状 況			:	出業の	品者も ねの実施に	おられ、は妥当	、生きであり	がいづ	くりと	なって	:いる	動を行ってと考えられ	いるため	というめ、事
改		133 1	細	抽		策		評	価		前		1373	紐		施			評	, ,,	価	後	
革	今	랎	拡拡	充	<u>, </u>		2	H I	5	1	<u>7</u>		月			· //E	•		R I	1	limi		
改	後	成 果					· į	1.					果	į							1.		
善	の	の 	現状				3	<u> </u>	6		9		σ. ナ		見状維持						<u> </u>		
の	方	力 向	縮	小			4		8		10		卢		首 /	J\							
方向	向	性	休房	€ 止	1								性	E t	ト 廃 」	Ŀ							
性	性				皆	減	縮	小	現状維			大			/						現状維持	拡	大
Â		出具作	見数が	油って		コ <i>フ</i>			への : 一人2点:		り出品を	큡	<u></u>	1作旦	カナくき	2711					の 方 ·人2点まで	の出品	
(CFFOZ)	改革・改善策	能とし	たため	、出品	数が堆	加し	た。今	後も、	一人2点: 一人2点: から出品	までの	の出品を	継こし	能続	としたか	eめ、 出品	出品数 者数を	が増加	した。 ため居	今後も	. –	人2点まで 巻等により	の出品	を継
最多	タ 評	価年日	al :	亚成20	在5日1	18	是 終	: 証 (西 責 任	一去				宣齡	者·保	公理	L			曲	角	幐	=

事務	事業	名	老人いきがし	ハ対	策事業	(高齡	者祝賀	事業)						事業期間] 平成		~		年度	整理番号	03010405
担旨	台部	署	健康福祉部			地域	福祉推	推課		高齢者	・介	護保隊	條	作成担当	者名	伊	藤	浩	志	連絡先	337
			プランに 位置づけ	有	政策	体 系	細	策 策 施 策 務事業	01 02 01 02	第1章 第2節 生きが 高齢者	高い活	齢者係 動と社	健福祉	い、その の充実 への支援		く暮ら	せる	まちづ	(4)		
計	予	算	事 業 名	老人	いきか	パル対策	6事業	費							会計	コード	00	款	03 I	頁 01 目	04 事業 02
画	事務	条事 深に∤	業の概要 ^{>かりゃすく)}																	っご夫婦 <i>の</i> 寄与する	D方にそれぞ 。
			と 背 景	る。	長寿を	そ祝うこ	とで.	、高齢者	ちの福	业、生	きがし	の増え	進を図り	、高齢者	が敬ね	つれる	まちて	57 91		巻く環境 げたいた	が変化してい め。
	目	対			50周年	i帳に登 Fを迎え			る者又に	は外国ノ	人登録	がされ	れている	88歳又は	t100歳	に達す	る方	•			
P		象	対象 (直接働きかける)									A of a									
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	自	の生活	き意欲の	の向上	と生きた	がいを	曽進する	5 .										高め、高齢者
L A			・ 方 法 やって)	間に	、民生	上児童多	美員(8		市理	事者お。											O日から10日 2日を 基準 に
			行政活動の約	洁果 7	からつ	くりだ	すもの	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・言	†算式	・目標	票値設定	定の考	きえ方なと	最終目標値
N		活動	敬老 (88歳、	100	0歳) 初	兄が受け	けられる	3	敬老	兄対象者	對数		人	住民基	本台帳	から対	象者	数を把	.握		364
	価	4H	金婚祝が受け	ナられ	h a				金婚礼	兄対象者	對数		組	該当者	からの	申込み	火(実	績)			105
	招標 の -		金婚を祝う	式に	出席し	ていた	だける		金婚礼	兄式出席	常者数	t	組	金婚を	祝う式	への 出	席者	数			29
	作	成	成果			果は		?	指	1000	名	称	単 位	算出方	法・詩	†算式	・目標	票値設定	定の考	きえ方なと	最終目標値
	成	指L	多くの方にs ける							K			%	出席者	÷対象	者					100
		標	多くの対象 ^を していただ!		散老祝	品(商	品券)	を使用	商品参	∳使用 罩	K		%	商品券	清算額	÷商品	券配	布額			100

	J	頂	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度事業計画(予算)
	1		(a)	円	3, 564, 808	3, 810, 208	4, 688, 499	4, 107, 056	6, 280, 000
	財	国庫支出	金	田					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	田					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	3, 564, 808	3, 810, 208	4, 688, 499	4, 107, 056	6, 280, 000
施	職	正規 職	員	人	0. 10	0. 06	0.06	0. 06	0. 06
	員	嘱 託 職	員	-					
	数	臨 時 職	員	<u> </u>	0.10				
状		合	計	人	0. 10	0. 06	0.06	0. 06	0. 06
		对 象 (者) T 和 B (者) **	数 /2\	<u> </u>					
			(b)	ᇫ					_
			(b)	円円	_	_	_	_	
況		受 益 者 負 担 市民一人当たりのコス	額ト	円	63, 00	68. 00	84, 00	74. 00	122, 00
-			目標	П	300	326	316	364	364
		敬老祝対象者数	実績	人	300	326	316	364	368
\sim		取名形的第一致	達成率	%	100.00	100, 00	100, 00	100.00	101, 10
	活		目標		95	140	107	108	105
	動	金婚祝対象者数	実績	組	95	140	107	108	106
	指	T > 1 > 1 > 1 > 1	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100, 00	100, 95
D	標		目標		27	28	26	29	29
		金婚祝式出席者数	実績	組	27	28	26	29	29
			達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
0			目標	07	100	100	100	100	100
	成	出席率	実績	%	28	20	24	29	29
	果		達成率	%	28. 42	20.00	24. 00	29. 00	29. 00
	指		目標	%	100	100	100	100	100
	標	商品券使用率	実績		88	84	87	88	90
			達成率	%	88. 20	84. 00	86. 90	88. 29	90. 00
	備考	平成24年度評価から、成 商品券使用率は、27年1月	果指標目末時	を見正 点。	i した。				

		業名 老			双									事業期間					年月			030	
担	当部	著 健康	福祉部	ij.		地均	支福祉推 注	進課	ì	高齢者	・介護	米険係	1	作成担当	者名	伊	藤	浩	志	連	絡先		337
	期			E	標						実	績							課	題			
				-															***				
	第	det sendes							det amobal							det amelia							
匹	1 期	特になし	•					1	特になし							特にな	L						
	州																						
半	笙	勘老恕.	2.触早:	きの押	堀 勘	老规具	の選定、	R 0	9月19日、	市長か	こっ名の	กากกล่	集直船 :	各广组品	上を贈								
	2	布日、初	状の化	「成を近	進め、荷		品贈呈を	行	呈する。そ	その他の						特にな	L						
	期	う。						3	を贈呈す	る。													
期																							
							贈呈の過		11月22日														
			の作用	で進め	の、金列	育 代品!	増呈式を		出席があ る。	る。欠席	もした万	にもれ	况状、初	品を贈	呈す	特にな	L						
נ	期) 。						,	v														
	第							9	29年2月2	8日丰7	, p.	++4	いまル	ママサギ	¥ı-				商品券值				
ے	4						を有効に	利用	て、敬老	児品とし	て贈呈	したお	買物券	を有効	に利	成28年	度の	商品	券使用2	率は88	.29%		した。
	期	していた	:/こける	よフ、ド	サい母い	70.		J	用していけ	ただける	らよう、『	呼び掛	けた。			火牛及呼び掛			ビーナー	ナヤン・	トルス	子双	医での
	\vdash									事	-	S T	/30			-, о-д	17 23	C/16C	77.20-8				
の	11. F	- 		- 0	⊐ <i>184</i> ⊽	\B I	☆ Γ ⊥ 1 − 1	<u> </u>	8885 F V	-	中	評	価				:		:				
							新たに5 があった。		:問題点な	で環境(ル変化		成 拡	左 夯	Č		Q	2		⑤	レ	7	
	町刀	u 字 かり)	mi i uu 🧱	है विश्व विष	まには	増生な	いのつに。						果 ^{········}	見状維持	ŧ .		(3	3		6		9	
管													÷		·····							<u>.</u>	
													ク 向	了 儿	`		(4	4)		8		10	
理									革・改善			方	性が	ト 廃 山	- 0	$\mathfrak D$							
		で祝品贈 F度の予				.品贈 5	性对象者(の見込	ぬ数に	とつき、	平灰	向			/	皆 ;	減	縮	小	現状	維持	拡	大
	23-4	FIX UV IV	井女小	٠ ١ J V ·	/_0.0									/					投入			向	
											性	_			П	^	٢	仅 八	. 0)	Л	[P]	Ί±	
		評価年月	F	21	纤度																		
	衬		<u> </u>		当		<u></u> 性		有	**	性			効	₩.	性	-		総合	\ ≣ਹ	; / =	यंत	-Û
		•	-	妥				-		効		V/II	-	.,,	率			4	総合	陪合	- 価	判	定
評		師の観点	<u> </u>	2	3	4	判定	_ '	2	3	4	判定	<u> </u>	2	3	4	判定	4			С		
	チ	ェック		レ			2	<u> </u>		レ		3					4			-1 1*		** + \	# 11 7 =
									∓増加し [−] 内容を見ī									ā		計画と とが適		来を 1	進めるこ
価		127.人	= / '&'	અ⊂ ~	~ つ1	ບາດJດ 14						27 M OC	1 9 H A									, _	
Щ	鲤	検討す・	る必要:	がある					14 6 701	E C C	, נכטנון	材政的	貝担を	現仏稚	持し	Curc	- C e	7	를 B : 를				善が必要
~	課		の使用	率は高	水準で	推移し	している。	。平成	成27年度、	、28年月	度と利	用率も	微増し	ている	。今	後は、写	記	0	를 B: 3 D C: 3	事業規	模・内	容・写	善が必要 実施主体
	課	商品券のサービ	の使用されが可	率は高 能な店	水準で舗を対	推移し	している。	。平成		、28年月	度と利	用率も	微増し	ている	。今	後は、写	記	<i>5</i>	号 B: 語 D C: 語 を D: 語	事業規 の見直 事業の	模・内 しが必 統合、	容・ 要	
	課題	商品券	の使用されが可	率は高 能な店	水準で舗を対	推移し	している。	。平成	成27年度、	、28年月	度と利	用率も	微増し	ている	。今	後は、写	記	50 5 章	号 B: 号 D C: 号 D: 号	事業規 の見直 事業の 討が必	模・内 しが必 統合、 要	容・写	実施主体 廃止の検
С		商品券のサービ	の使用されが可	率は高 能な店	水準で舗を対	推移し	している。	。平成	成27年度、	、28年月	度と利	用率も	微増し	ている	。今	後は、写	記	がいる。	号 B: 見 D C: 見 し し 動 手 度 D: 見 前 年 度	事業規 の見事 事業が必 会 会	模・内 しが必 統要 価判定	容・多要休・原	実施主体 廃止の検 C
		商品券のサービ	の使用 スが可 ように	率は高 能な店 目指し	水準で 舗を 対 たい。	推移し	している。 こ示し、	。平成自力で	成27年度、 で買い物!	、28年』 に行く	度と利 ことが[用率も	微増し	ている Sいて、	商品	後は、5 券がより	包配 少利用	の気象 前	B: DC: 定 D: 競 前年度終 前年度經	事業規の事業の事業が必然合評を記した。	模・内 しがら 統要 価判定	容・第 要休・原 号 03	実施主体 廃止の検
С	題	商品券(サービ)される。	か使用 スが可 ように 細	率は高店 目指し 施	水準で 舗を対 たい。 	推移し	している。 こ示し、 評	。平成 自力で	成27年度、で買い物!	、28年 に行く 前	度と利 ことが[用率も困難な	微増し 方にお	ている	商品	後は、5 券がより	を配 リ利用 乗	の 気 編 一直	号 B: 記 C: 記 で E を で E を を を を を を を を を を を を を を を	事業規直の事が合い ペート 価	模・内 し統要 価判定 整理番	容要休 号 03	実施主体 廃止の検 C 8010408
н	題	商品券によっている。	が使用でいた。 はうに 細 対象者	率能計画 構加 ・	水郷を対して対している。	推移は	している。	。平成自力で	成27年度、 で買い物! 価 それに伴!	、28年 に行く 前 い市の	度と利用 ことが	用率も対象を	微増した 方によ	いている。	施加す	後は、5 券がより るもの	を記り利用を表します。	対象を	B: C: D: D 前年度評価 が、る	事の事材を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	模し統要価整理番件いま	容要休・月 03 後 7 の財	実施主体 廃止の検 C 8010408
	題総	商品券によっている。	が使用で ながうに 細 対象者に	率能目 増る高店し 施加と	水舗たすいるえる	推移は	している。	。平成自力で	成27年度、で買い物!	、28年 に行く 前 い市の	度と利用 ことが	田本 なを 見 見 で	機増した 和対 を担直す必必	いて、	・商品 施加 かいこく	後は、5番がより	を記れている。	対象である。	号の定義 前年度経 の 上 で	事別事計総の事計総の事計をある。	模し統要価 整 件の ・内必、定番	容要休・月 03 後 7 の財の を	実施主体 廃止の検 C 8010408 け政的なを
н	題総	商出一れ 今負見商品 参担直品券	かない 細 対大込に 番号き要つい 者(ご)	率能目 はな出てはな指 増るては 高店し 施加とく、	水舗た すいる平です。	推移する。たち、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	している。 ニ示し、 評 思われる; 高齢者;	。自 が祝 と利用	成27年度、 で買い物! 価 それに伴! 事業も微:	、28年に に行く: 前い市ののと	度と利用では、	中国 なを 一	が増した が方にお 組対する をもが必ずる はおかに	いている。	今品 施加とく、	後は、5 券がより るものた。 元成27年	記利用 とめ 度、2	の気象 下前 かれる	号の 定義 前年 度評 が祝 と利 できる者 変と利 になった。 できる できる できる できる できる できる かん と かん こう いん こう こう いん こう こう いん こう こう	事の事計総シートの表の必評・価にそも	模し統要価整件の ・が合料理いも増 いも増し	容要休に号のある。	実施主体 廃止の検 C 3010408 I政的なを
HE	題総	商サさ 今負見商今	かない 知り 対大込に おおり おおり おおり おおり おおり おおり おおり おおり おおり おお	率能目 はな出てサ はな指 増るては一 橋加とく、ビ	水舗た すいる平ス準をい るえ。成が	推移者のたりを表し、「年度」	でいる。 に示し、 評 思 和 高 28年度 店舗を対	。自 が祝 と象 利 に	成27年度、 で買い物/ 価 にその。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、28年に に行く: 前市のの がものしてい 自力で	度と利に	用困 なを に	物増しお 後担直品券は を対するに、S	いていても書くがいるという。	今品 加とく、ビー	後 は よ り も る 。	記利 <u>東</u> とめ 度な	の 気象 一直 れかれ 年を	号の定義 前の年度 中度評価 ・ では、質利者 ・ では、質利者	事の事計総・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	模し統要の価整件の一般、 ・が合料理・いも増育的のである。 ・対しているでは、 ・対しているでは、 ・対している。 ・ガランドのでは、 ・ガランとは、 ・ガーとは、 ・ガランとは ・ガランとは、 ・ガランとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは ・ガラとは ・ガラとは ・ガラとは ・ガラと ・ガラと ・カと ・ ・ ・ を ・ ・ ・	容要休 : 号 後 助あ い 買	集施主体 を上の 3010408 C 3010408 nb nb nb
H E	題総合評	商サさ 今負見商今	かるよう 細 対大込こと 使がう 細 象き要つ宅がい配因	率能目 はな出てけ難はな指 増るては一な高店し 施加とく、ビ方	水舗た すいる平スに準をい るえ。成がおお	推移者 策とめ、 大作化 大作化 大学 はいていていていている	に い い い い い し 、 一 れ 齢 を き は る き を き ち も る も ち り る も り る も り る も り も り る も り る も り る も り る も り も り	。自 が祝 と象 利 に	成27年度、 で買い物! 価 それに伴! 事業も微:	、28年に に行く: 前市のの がものしてい 自力で	度と利に	用困 なを こ野 本数 今負見商今行	が 物 地 は を を を を を を を を を を を を を	いていても書くがいるという。	今品 加とく、ビ方になっている平スに	後 は は よ り の た こ え こ え こ れ た れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に	を 配利	の 対象 一直 れ か 年を券が	号の定義 前 年度 変対が と象より 本質 となって を できます できます できます できます できます できます できます とき かい とう かい とう はい とう かい とう かい とう かい とう かい とう かい とう かい とう	事の事計総・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	模し統要の価整件の一般、 ・が合料理・いも増育的のである。 ・対しているでは、 ・対しているでは、 ・対している。 ・ガランドのでは、 ・ガランとは、 ・ガーとは、 ・ガランとは ・ガランとは、 ・ガランとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは、 ・ガラとは ・ガラとは ・ガラとは ・ガラとは ・ガラと ・ガラと ・カと ・ ・ ・ を ・ ・ ・	容要休 : 号 後 助あ い 買	集施主体 を上の 3010408 C 3010408 nb nb nb
HEC	題総合	商サさ 今負見商今行商 品ーれ 後担直品後く工 がす券はこ会	D	単能目 はな出てけ難連はな指 増るては一な携 高店し 施加とく、ビ方し	水舗た すいる平スになるえ。成がおが	推移者 策とめ 度いに 1	して示 いしし、 関われ齢 28年度対が。 15 16 16 16 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	。自 が祝 と象よ で	t 27年 t 27	、28年月 に行く。 前市の見 いものしてし しカラリ	度とが関いない。	用困 なを に野 本難 今負見商今行商	が 検増しま を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	いて、また。また、また、またいで、またいで、おいで、おいで、おいではないのでは、またがい。これでは、またが、これでは、またが、これでは、またが、これでは、またが、これでは、またが、これでは、またが、これでは、またが、これでは、またが、これでは、またが、これでは、またが、これでは、またが、これでは、またが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	今品 施加とく、ビ方し	後券がより もる。 27可いら 年能で目	を記り をない 度な、指配利 思、 、店商しれる 2 含品が	の 気象 下前 れ輪 年を券い	号の定義 前 年度評価・大変を対が、 BC D 年度評価・大変を対が、 大変を表し、対象と	事の事計念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	模し統要価 整件の一微、れ・が合 判理・いも 増自る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	容要休 : 号 後 助あ い 買	集施主体 を上の 3010408 C 3010408 nb nb nb
H E C K)	題総合評	商サさ 今負見商今行商品ーれ 後担直品後く工券にる もがす券はこ会	の な は で が う の の な に の で が の で が の で の に に に に に に に に に に に に に	率能目 はな出てサ雑連 てはな指 増るては一な携 革高店し 施加とく、ビ方し	水舗た すいる平スにな るえ。成がおが 改 もる 22可いら	推移者 策とめ、定いに 善善	では、	。自 が祝 と象よ 施 です 月に和	成27年度 で買い物 価 それまその ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、28年月 に行く : 前のの : いもの しカよう!	度とが「財あり」では、 実施	用困 なを に野 本難 今負見商今行商	機力に ・ 機力に ・ 機力に ・ を担直品後く工 ・ を対す券はこ会議 ・ できます。	こい まき要つもが かいこと では、 はなるでは、 はないでもかいでいますが にはした 施 策 を 変われる はん	。商 施力とことできる	後 は は も る え 。 だ が い た る だ た が に た た た た た た た た た た た た た た た た た	を利用をしめ、度な、指し、上のでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	70 元章 下前 れい おお 年を券い 今	号の定義 前年 評価 を対がの後 の 日本度 評価 という はいました はい はい はい はい はい はい はい はい はいました はい はいました はい はい はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいました は	事の事計総合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	模し統要価 整件の一微、れ・が合 判理・いも 増自る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	容要休	集施主体 を C 3010408 D 3010408 D 3010408
H E C K) 改	題 総合評価	商サさ 今負見商今行商 品ーれ 後担直品後く工 がす券はこ会	D	単能目 はな出てけ難連はな指 増るては一な携 高店し 施加とく、ビ方し	水舗た すいる平スにな るえ。成がおが 改 もる 22可いら	推移者 策とめ 度いに 1	して示 いしし、 関われ齢 28年度対が。 15 16 16 16 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	。自 が祝 と象よ 施 です 月に和	t 27年 t 27	、28年月 に行く。 前市の見 いものしてし しカラリ	度とが「財あり」では、 実施	用困 なを に野 本難 今負見商今行商	が 検増しま を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	こい まき要つもが かいこと では、 はなるでは、 はないでもかいでいますが にはした 施 策 を 変われる はん	今品 施加とく、ビ方し	後 は は も る え 。 だ が い た る だ た が に た た た た た た た た た た た た た た た た た	を記り をない 度な、指配利 思、 、店商しれる 2 含品が	70 元章 下前 れい おお 年を券い 今	号の定義 前 年度評価・大変を対が、 BC D 年度評価・大変を対が、 大変を表し、対象と	事の事計念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	模し統要価 整件の一微、れ・が合 判理・いも 増自る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	容要休 : 号 後 助あ い 買	集施主体 を C 3010408 D 3010408 D 3010408
H E C K)	題総合評価	商サさ 今負見商今行商 品ーれ 後担直品後く工 がす券はこ会	の な は で が う の の な に の で が の で が の で の に に に に に に に に に に に に に	率能目 はな出てサ雑連 てはな指 増るては一な携 革高店し 施加とく、ビ方し	水舗た すいる平スにな るえ。成がおが 改 もる 22可いら	推移者 策とめ、定いに 善善	では、	。自 が祝 と象よ で です 月に お で で で で の で で で の で	成27年度 で買い物 価 それまその ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、28年/ (これ) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	度ことが「財あい買に実施りるい、実施	用困 なを に野 本難 今負見商今行商	後担直品後く工年 かけんがする はいません かいまた おいまん と は ままま は こ 会 ままま は こ 会 ままままままままままままままままま	こい まき要つもが かいこと では、 はなるでは、 はないでもかいでいますが にはした 施 策 を 変われる はん	。	後 は は も る え 。 だ が い た る だ た が に た た た た た た た た た た た た た た た た た	を利用をしめ、度な、指し、上のでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	70 元章 下前 れい おお 年を券い 今	号の定義 前年 評価 を対がの後 の 日本度 評価 という はいました はい はい はい はい はい はい はい はい はいました はい はいました はい はい はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいました は	事の事計総合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	模し統要価整件の微へ、れいが合料理いも増増自るします。	容要休	集施主体 を C 3010408 D 3010408 D 3010408
H E C K) 改革·	題 総合評価	商サさ 今負見商今行商 前 成果券ごる もがす券はこ会 年	のない 一番 大砂に 上叢 細 拡 温 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	率能目 はな出てけ難連 て	水舗た すいる平スにな るえ。成がおが 改 もる 22可いら	推移者 策とめ、定いに 善善	ここでは、 は	。自 すが祝 と象よ ルー・マカー・マラ 人質 月代リー・マラー・マラー・マラー・マラー・マラー・マラー・マラー・マラー・マラー・マラ	tag	、28年月 に 前のの で じ	度ことが「財あい買に実施りるい、実施	中国 はを 15 は 1	後担直品後く工年 おかけん おおす おいま おおす おいま と は 度 和 打 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	ていて 者くがい配因と 施 はな出ていせ	。 商 施力とく、ご方し 評 施	後 は は も る え 。 だ が い た る だ た が に た た た た た た た た た た た た た た た た た	を利用をしめ、度な、指し、上のでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	70 元章 下前 れい おお 年を券い 今	号の定義 前年 評価 を対がの後 の 日本度 評価 という はいました はい はい はい はい はい はい はい はい はいました はい はいました はい はい はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいました は	事の事計総・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	模し統要価整件の微へ、れいが合料理いも増増自るします。	容要休	集施主体 を C 3010408 D 3010408 D 3010408
H E C K) 改革·改	題総合評価	商サさ 今負見商今行商 前 成果の券ビる もがす券はこ会 年	のスよ	率能目 はな出てけ難連 て	水舗た すいる平スにな るえ。成がおが 改 もる 22可いら	推移者 策とめ、定いに 善善	でいして、 取高 8年を対が。 ま簡品 たの 実評 (2) (3) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	。自 ない とまい できない アカー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー	t 27年い (で) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	、28年月 い市のの いも しってで の でで の で の で で の で の で で の で で の で の で で の で で の で の で で の で で の で で り で の で で り で り で	度ことが「財あい買に実施りるい、実施	中国 など こ野 は のりまから かりまかり かり か	後担直品後く工年 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ton a total tota	。商	後 は は も る え 。 だ が い た る だ た が に た た た た た た た た た た た た た た た た た	を利用をしめ、度な、指し、上のでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	70 元章 下前 れい おお 年を券い 今	号の定義 前年 評価 を対がの後 の 日本度 評価 という はいました はい はい はい はい はい はい はい はい はいました はい はいました はい はい はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいました は	事の事計総・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	模し統要価整件の微へ、れいが合料理いも増増自るします。	容要休	集施主体 を C 3010408 D 3010408 D 3010408
H E C K) 改革・改善の	題総合評価今後の	商サさ	のない 一番 大砂に 上叢 細 拡 温 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	率能目 はな出てけ難連 て	水舗た すいる平スにな るえ。成がおが 改 もる 22可いら	推移者 策とめ、定いに 善善	ここでは、 は	。自 ない とまい できない アカー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー	tag	、28年月 に 前のの で じ	度ことが「財あい買に実施りるい、実施	中華 今負見商令行商 前 パリカン	検担	ていて 者くがい配因と 施 はな出ていせ	。商	後 は は も る え 。 だ が い た る だ た が に た た た た た た た た た た た た た た た た た	を利用をしめ、度な、指し、上のでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	70 元章 下前 れい おお 年を券い 今	号の定義 前年 評価 を対がの後 の 日本度 評価 という はいました はい はい はい はい はい はい はい はい はいました はい はいました はい はい はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいました は	事の事計総・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	模し統要価整件の微へ、れいが合料理いも増増自るします。	容要休	集施主体 を C 3010408 D 3010408 D 3010408
H E C K) 改革・改善の	題 総合評価 今後の方	商サさ 今負見商今行商 前 成果の券ビる もがす券はこ会 年	のなよ 細 対大&こ と 養 細 拡 現用可に 者くがい配因と さ 状	季能目 はな出てサ難連 (水舗た すいる平スにな るえ。成がおが 改 もる 22可いら	推移者 策とめ、定いに 善善	でいして、 取高 8年を対が。 ま簡品 たの 実評 (2) (3) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	。自 ない とまい できない アカー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー	t 27年い (で) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	、28年月 い市のの いも しってで の でで の で の で で の で の で で の で で の で の で で の で で の で で の で の で で で の で	度ことが「財あい買に実施りるい、実施	中国 など こ野 は のりまから かりまかり かり か	では、	ton a total tota	。商	後 は は も る え 。 だ が い た る だ た が に た た た た た た た た た た た た た た た た た	を利用をしめ、度な、指し、上のでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	70 元章 下前 れい おお 年を券い 今	号の定義 前年 評価 を対がの後 の 日本度 評価 という はいました はい はい はい はい はい はい はい はい はいました はい はいました はい はい はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいました は	事の事計総・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	模し統要価整件の微へ、れいが合料理いも増増自るします。	容要休	集施主体 を C 3010408 D 3010408 D 3010408
H E C K) 改革・改善の方向	題 総合評価 今後の方向	商サさ	のない 一般	季能目 はな出てサ難連 (水舗た すいる平スにな・ さるえ。成がおが 改 し	推移者のたって解して目、善策をしめ、度が、には、策を	では、 ・ では、 、 では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・	。自 が祝 と象よ を イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	t 27年 か	、28年/ いものので いものので しかう のので でう のので のので のので のので のので のので のので のので	度とが「財政りるい。」 実施	中国 なを こ野 に	では、	ていて 者くがい配因と 施 はな出ていて動き要つ記が所 細 は 広 現	・商 施加とくです。 液化 すいる 平スにな 作 施	後券 もる。成がおおい ももる。27可いら にがおおい こ	配利 思、 法店商 は け 表 とめ 度な、指 け 表	70 気量 「前 れ給 保を券 い 今	号の 定義 前 句 評 る者 変対が 。後 評 は と	事の事対念を立てき事用に引き、現底の必評・価にくをもしさの個にしています。	模し統要 価 整 伴の 微、れ L L / ・	容要休 - 号 03 後 財 あ い で う	集施主体 を で は の の の の の の の の の の の の の
H E C K) 改革・改善の方向性	題 総合評価 今後の方	商サさ	のない 一番 大砂に 上巻 一番 拡 現 縮用可に 者くがい配因と は 状 に	季能目 はな出てサ難連 (水舗た すいる平スにな ・	推移者のた年能で目善策をいる。	では、 ・ では、 、 では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・	。自 ない はない はない はない はない はない はない はない はない はない	t 27年い を	、 28年/ いも 増自る ・	度ことが「財政りるい、実施」	中国 なを こ野 に	では、	ていて 者くがい配因と 施 はな出ていて動き要つ記が所 細 は 広 現	・商 施加とくです。 液化 すいる 平スにな 作 施	後券 もる 27可いら に 皆 :	配利 思、 た ちは け を 成 とめ 度な、指 け を 成	では、	号の定義 前年 評価 を対がの後 の 日本度 評価 という はいました はい はい はい はい はい はい はい はい はいました はい はいました はい はい はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいました はいました は	事の事対念を立ても事に引き、「一個」は、現直の必評・価にそのもしさ、「一個」は、状態を表現して、「一個」は、大学のでは、「一個」は、大学のでは、「一個」は、「一個」は、「一個」は、「一個」は、「一個」は、	模し統要 価 整 伴の 微、れ E / 維持	容要休	集 廃 上 体 と は の の の の の の の の の の の の の
H E C K) 改革・改善の方向性(題 総合評価 今後の方向性	商サさ 今負見商今行商 前 成果の方向性 かいけい はいかい かんしゅう しゅんしゅう かんしゅん かん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんし	のなら、細胞をき要つ宅が所度、細拡現縮体がい配配と、改成が、観点を表していいのでは、現るが、現るのでは、現るでは、現るのでは、現るでは、現るでは、現るでは、現るでは、現るでは、現るでは、現るでは、現る	本能目 はな出てサ難車 元 推 上	水舗た すいる平スにな・ と もる 21可いら 改	推合者・策とめ、大学には、一番・策・利益を表し、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	。自 すが祝と象よ アウス・マイ・アウス・マイ・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	tag	こ 1 2 3 4 4 5 6 7 9 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 1 1 1 2 2 2 3 4 4 5 6 6	度こ	中国教 なを に野 に りまの方に性	検担直品後く工 年	でいて	。 商 施 からこく、ビ方し 平 施 かいる平スにな 平 施	後券 もる。 27可いら に 皆 コ	を引 を とめ 度な、指 け ま	おいた の 一	号の定義 前の評さ者を 変対が、後い評 ・ 接評 ・ 接評 ・ 大きの ・ たっとの ・ 大きの ・ 大きの ・ 大きの ・ たっとの ・ 大きの ・ 大きの ・ 大きの ・ たっの ・ たっの ・ たっの ・ たっの ・ たっしの ・ たっしの ・ たっしの ・ たっしの ・ たっしの ・ たっ ・	事の事対念ができまります。日本の事が会ができまります。これでは、日本の事ができます。日本の事ができません。日本の事ができません。日本の事ができません。日本の事ができません。日本の事ができません。日本の事ができません。日本の事ができません。日本の事ができません。日本の事ができません。日本の事ができません。日本の事ができません。日本の事ができません。日本の事ができません。日本の事ができません。日本の事ができません。日本の事ができまります。日本の事ができまります。日本の事ができまります。日本の事ができまります。日本の事ができまります。日本の事ができまります。日本の事ができまります。日本の事ができまります。日本の事ができまります。日本の事ができまります。日本の事ができまります。日本の事ができまります。日本の事ができまります。日本の事ができまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまり	模し統要 価 整 伴の 微、れ に / 維 持 方・が合 判 番 市の も 増 自 る ・	容要休 ・ 月 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1	集 廃 上 体 は の の の の の の の の の の の の の
H E C K) 改革・改善の方向性(AC	題 総合評価 今後の方向性改	商サさ 今負見商今行商 前 成果の方向性 かいけい はいかい かんしゅう しゅんしゅう かんしゅん かん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんし	のなら、細胞を要の宅が所度、細拡現縮体使用可に着くがい配配と、引動を表していいに対して、関係を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	本能目 はな出てサ雑車で	水舗た すいる平スにな・ と もる 2ついら 改 上 する	推合者・策とめ、大学には、一番・策・利益を表し、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	。自 すが祝と象よ アウス・マイ・アウス・マイ・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	t 27年い を	こ 1 2 3 4 4 5 6 7 9 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 1 1 1 2 2 2 3 4 4 5 6 6	度こ	TRA	検担	てい 者くがい配因と 施 状 廃 用周 の	。商 施力とく、ビスト 評施 ここ へ できる	後券 るえ。成がおが E すに な る な 27可いら に る な な る な で ま な な ま な な ま ま で ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま で	を を を とめ 度な、指 け を 成 ろすす。 こすす。 これである。 これでる。 これである。 これで	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	号の定義 前 年 評 る 者 度 対が の後 評 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事の事対念 元・それ事 日こり うの親直の必評 一価にそもしさ 竹価 し 状の 商	模し統要・価整件の機で、れました。 維 1 品 4 日 4 日 5 日 6 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7	容要休 1 号 600 こでう 後 駅 あ い 質に	集
H E C K) 改革・改善の方向性(ACT	題 総合評価 今後の方向性	商サさ 今負見商今行商 前 成果の方向性 品券ビる もがす券はこ会 年	のなら、細胞を要の宅が所度、細拡現縮体使用可に着くがい配配と、引動を表していいに対して、関係を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	本能目 はな出てサ雑車で	水舗た すいる平スにな・ と もる 2ついら 改 上 する	推合者・策とめ、大学には、一番・策・利益を表し、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	。自 すが祝と象よ アウス・マイ・アウス・マイ・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	tag	こ 1 2 3 4 4 5 6 7 9 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 1 1 1 2 2 2 3 4 4 5 6 6	度こ	TRA	検担	To	。商 施力とく、ビスト 評施 ここ へ できる	後券 るえ。成がおが E すに な る な 27可いら に る な な る な で ま な な ま な な ま ま で ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま で	を を を とめ 度な、指 け を 成 ろすす。 こすす。 これである。 これでる。 これである。 これで	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	号の定義 前 年 評 る 者 度 対が の後 評 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事の事対念 元・それ事 日こり うの親直の必評 一価にそもしさ 竹価 し 状の 商	模し統要・価整件の機で、れました。 維 1 品 4 日 4 日 5 日 6 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7	容要休 1 号 600 こでう 後 駅 あ い 質に	集
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	題 総合評価 今後の方向性 改革・	商サさ 今負見商今行商 前 成果の方向性 品券ビる もがす券はこ会 年	のなら、細胞を要の宅が所度、細拡現縮体使用可に着くがい配配と、引動を表していいに対して、関係を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	本能目 はな出てサ雑車で	水舗た すいる平スにな・ と もる 2ついら 改 上 する	推合者・策とめ、大学には、一番・策・利益を表し、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	。自 すが祝と象よ アウス・マイ・アウス・マイ・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	tag	こ 1 2 3 4 4 5 6 7 9 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 1 1 1 2 2 2 3 4 4 5 6 6	度こ	TRA	検担	てい 者くがい配因と 施 状 廃 用周 の	。商 施力とく、ビスト 評施 ここ へ できる	後券 るえ。成がおが E すに な る な 27可いら に る な な る な で ま な な ま な な ま ま で ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま で	を を を とめ 度な、指 け を 成 ろすす。 こすす。 これである。 これでる。 これである。 これで	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	号の定義 前 年 評 る 者 度 対が の後 評 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事の事対念 元・それ事 日こり うの親直の必評 一価にそもしさ 竹価 し 状の 商	模し統要・価整件の機で、れました。 維 1 品 4 日 4 日 5 日 6 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7	容要休 1 号 600 こでう 後 駅 あ い 質に	集
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTIO	題 総合評価 今後の方向性 改革・改	商サさ 今負見商今行商 前 成果の方向性 品券ビる もがす券はこ会 年	のなら、細胞を要の宅が所度、細拡現縮体使用可に着くがい配配と、引動を表していいに対して、関係を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	本能目 はな出てサ雑車で	水舗た すいる平スにな・ と もる 2ついら 改 上 する	推合者・策とめ、大学には、一番・策・利益を表し、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	。自 すが祝と象よ アウス・マイ・アウス・マイ・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	tag	こ 1 2 3 4 4 5 6 7 9 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 1 1 1 2 2 2 3 4 4 5 6 6	度こ	TRA	検担	てい 者くがい配因と 施 状 廃 用周 の	。商 施力とく、ビスト 評施 ここ へ できる	後券 るえ。成がおが E すに な る な 27可いら に る な な る な で ま な な ま な な ま ま で ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま で	を を を とめ 度な、指 け を 成 ろすす。 こすす。 これである。 これでる。 これである。 これで	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	号の定義 前 年 評 る 者 度 対が の後 評 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事の事対念 元・それ事 日こり うの親直の必評 一価にそもしさ 竹価 し 状の 商	模し統要・価整件の機で、れました。 維 1 品 4 日 4 日 5 日 6 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7	容要休 1 号 600 こでう 後 駅 あ い 質に	集
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	題 総合評価 今後の方向性 改革・改善	商サさ 今負見商今行商 前 成果の方向性 品券ビる もがす券はこ会 年	のなら、細胞を要の宅が所度、細拡現縮体使用可に着くがい配配と、引動を表していいに対して、関係を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	本能目 はな出てサ雑車で	水舗た すいる平スにな・ と もる 2ついら 改 上 する	推合者・策とめ、大学には、一番・策・利益を表し、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	。自 すが祝と象よ アウス・マイ・アウス・マイ・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	tag	こ 1 2 3 4 4 5 6 7 9 1 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 1 1 2 2 3 4 5 6 6 7 8 9 1 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7	度こ	TRA	検担	てい 者くがい配因と 施 状 廃 用周 の	。商 施力とく、ビスト 評施 ここ へ できる	後券 るえ。成がおが E すに な る な 27可いら に る な な る な で ま な な ま な な ま ま で ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま で	を を を とめ 度な、指 け を 成 ろすす。 こすす。 これである。 これでる。 これである。 これで	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	号の定義 前 年 評 る 者 度 対が の後 評 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事の事対念 元・それ事 日こり うの親直の必評 一価にそもしさ 竹価 し 状の 商	模し統要・価整件の機で、れました。 維 1 品 4 日 4 日 5 日 6 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7	容要休 1 号 600 こでう 後 駅 あ い 質に	集
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTIOZ)	題 総合評価 今後の方向性 改革・改善策	商サさ 今負見商今行商 前 成果の方向性 品券ビる もがす券はこ会 年	のなよ おおけたひこと 養 田 拡 現 縮 休 使用用可に 者くがい配因と ご 状 廃 用を	率能目 はな出てけ難連 て 推 ル がしはな指 増るては一な携 革 充 持 小 止 がし高店し 施加とく、ビ方し 施	水舗た すいる平スにな・ と もる 2ついら 改 上 する	推合を使とめ、度な、指策を対し、大学を対している。	では、 ない。 和高 を を の の の の の の の の の の	。自 『が祝 と象よ ―――――――――――――――――――――――――――――――――――	tag	28行 市のの しカよ 「前のの てでう」 部 前 ② ⑨ ⑩ 拡向	度こ	TRA	微方後担直品後く工地方もがす券はこ会度細対大必に、と譲度細対がするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするがするが	てい 者くがい配因と 施 状 廃 用周 の	。商 施加さく、ビオリ 評 施 うこと すらさん マスにな イートラル しゅうさん	後券 るえ。成がおが 画 皆 すにし はが もる 27可いら に る依て る依て しま すいし ま すいし かん かん 年能で目 お き ま かん	を を を とめ 度な、指 け を 成 ろすす。 こすす。 これである。 これでる。 これである。 これで	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	号の定義 前 年 評 の者 ・ 変対が、後 評 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事の事対念 シーとも本用に引き、現のや親直の必評 ト 価値にそもしさ 一情 価値し 、	模し統要・価整件の機で、れました。 維 1 品 4 日 4 日 5 日 6 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7	容要休 1 号 600 こでう 後 駅 あ い 質に	集

事務	事業	(名	高齢者クラ	ブ助	成事業										=	事業期	間	平成		~		年度	整整	理番号	0301	0406
担当	当 部	署	健康福祉部			地	域福	祉推進	課		高齡	者・	介護保	険係	1	作成担	当者	名	伊	藤	浩	志	ì	連絡先	3	37
			プランに 位置づけ	有	政策	基体	系 -	政 施 細 施 事務事		02 01		節 がい	高齢者 活動と	に支え 保健社 社会参 助金ダ	■祉σ ●加へ	充実 の支		らし	く暮り	5 せる	まち	づくり				
計	予	算	事 業 名	i	者クラ														コート		,,			01 目		業 03
画	事系	多事 ほん	: 業の概要 っかりゃすく)	高數	者クラ	ラブ)	٤,	そのは	車合体	組織で	である	地区	医高齢さ		ブ連1	合会(市内							者クラフ ∵交付す		
			と背景うして)	いる	高め、	健全	で豊	「齢者目 とかなる シ支援で	を後の	組織 l 生活る	ン、社 を送る	:会る た &	を仕活り かに活り	助や教 動する	養講』組織:	座等を である	開催	量する それら	なか の活	で、こ	高齢者 対して	を で、財政	が互し 政的が	いに交流 な援助を	目的	生きが とし
(目	対	受益者					するこ			7 = 4A	- <u>+</u>	フラブ	*												
P		象	対象 (直接働きかける)	11146	(EPT	ᄯᄭᄺ	1 W P 1	19 J.	78 4	CARR		113 7	, , , ,	差口本												
	的	(どん	意図な状態にしたいか)																					みが活性		
L A			・ 方 法 やって)		は高齢者 を交付			:地区和	高齢者	クラコ	ブ連合	会^	丶、単{	立高齢:	者ク [:]	ラブ((地区	区高書	者ク	ラブ	車合会	会)補理	助金3	交付基準	壁に基・	づき補
			行政活動の紀	洁果:	からつ	くり	だす	ものは	:何?	指	標	名	3 称	単	位	算出	方法	: 計	算式	· 目	票値言	設定の	考え	方など	最終	目標値
N	証	活動	高齢者クラ	ブに	補助金	が交	付さ	れる ①)	補助金 ブ数	交付	高計	者クラ	5 5	体	補助:	金が	交付	された	と高齢	者ク	ラブ数	(美	尾積		99
	価指	指標	高齢者クラ	ブに	補助金	が交	付さ	162) ;	補助金	交付	額			Ħ	補助的	金が	交付	される	5額						
)	標の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	4 称	単	位	算出	方法	: 計	算式	• 目	漂値言	設定の	考え	方など	最終	目標値
	成	果	茅野市高齢 動を行う高			合会	に加	入し各		高齢者 入者数		ブ連	合会力	П	人	高齢	者ク	ラブ	連合会	ὲ^ σ.	加入	者数				
		標	単位高齢者	クラ	ブでの	活動	が増	える	i	高齢者	クラ	ブ混	動数			単位	高齢	者ク	ラブの	の活動	数(計画数	t)		2	2, 800

	項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	事業費等	(a)	円	6, 123, 045	4, 677, 640	4, 546, 908	4, 320, 200	4, 508, 000
貝	ォ 国 庫 支 出	金	円					
実	県 支 出	金	円	1, 349, 000	1, 506, 000	1, 593, 000	1, 564, 000	1, 564, 000
<i>P</i>	. 地 万	債	円					
	_ て の 他 特 正 別		円					
i	川久 六	源	円	4, 774, 045	3, 171, 640	2, 953, 908	2, 756, 200	2, 944, 000
施用	選	員	人	0. 06	0. 06	0.06	0. 06	0.06
	嘱託職	員	人					
· ***	, 品 時 職	員	人					
状	н	計	人	0. 06	0. 06	0.06	0.06	0.06
	対象 (者)	数		99	99	99	99	99
		(b)		40	61	59	58	58
		(b)	円	153, 076	76, 683	77, 066	74, 486	85, 511
況	受益者負担	額	円	400.00	04.00	00.00	70.00	00.00
	市民一人当たりのコス		円	109. 00	84. 00	82. 00	78.00	90.00
	補助金交付高齢者クラ	目標	団体	99	99	99	99	99
	ブ数	美領		40	63	59	58	59
7	舌	達成率	%	40. 40	63. 64	59. 60	58. 59	59. 60
1	b +	目標	円					
重	補助金交付額	実績	0.4					
D A		達成率	%	_	_	_	_	_
1		目標	_					
	_	実績達成率	%	_	_	_	_	_
_			%		_		_	
O J	☆ 高齢者クラブ連合会加	目標 実績	人	14, 467 6, 118				
, j		達成率	%	42. 29	_	_	_	_
_ 才	۲	目標	70	1, 624	2, 674	2, 823	2, 800	2, 800
○		実績		1, 624	2, 674	2, 823	3, 163	3, 061
1:	示 同節ロンノノカ判数	達成率	%	100.00	100, 00	100.00	112, 96	109. 32
	 ⊭ 茅野市高齢者クラブ連合			6年3月31日に解散し		100.00	112. 90	109. 32
ſ	# オギル同節センノノ連合	式は、	一,,,,,,	0十5月31日に解散し				
#	-							

			者クラブ	助成事										業期			~			度 整理番号		
担	当部	署 健康	福祉部		地	<mark>す福祉推</mark> 注	進課		高齡	者・介語	雙保隊	係	1	F成担	当者名	伊	藤	7	告 志	連絡先	33	7
	期			目標	E .					5	実 糸	責							課	題		
四			画等の提			ラブ連合会補助金交	付台	会の	会長か	ラブ会長 ら、事業 定させ <i>†</i>	計画					特にな	îL					
半期	第 2 期		者クラブ ·交付する		齢者グ	ラブ連合会	0			区高齢者 ラブへ神					日に	特にな	řl.					
<i>~</i> :	_	県高齢者 請を行う		合い支	爱事業	輔助金交付	9			齡者地 域、9月8日					助金	特にな	îL					
۲	第 4 期	県高齢者 定を受け		合い支	援事業	補助金交付				を受け	5.				補助	特にな	îL					
_O									事	中		平	価									
			後、約6	ヶ月が約	怪過し、	新たに生	主じた	問題点	や環	境の変化	실숙	厄		4	充		(2	レ	⑤	7	
	特に	なし									後	月 0		1状維	持		(3		6	9	
管											o o	7	*	 2	/ \			4		8	(10)	
		- 新年	使の宝は	东計画。	子質可	要求事項	(水洋	1 小沙	主生)		_	Ę	ī]			•		<u> </u>		•	UV	
理	平成					き、平成2				すいたい	方	'-	± 14	廃	ш_	<u>(1)</u>						
											向			/		皆		縮		現状維持	拡	大
											性		/			_	ス	۲	投り	人の方	向 性	±
		评価年度		当年度	.	1																
	裑		妥			性		有	効	· •	<u>±</u>			効	率		生		総	合 評 価	判	定
-		この観点		2 3	4	判定	1	2	3	4	_ 判5	Ē	1	2	3	4	判別	Ē	1,0		- ' '	,-
評		ェック		,		2				V	3						4			С		
価(c	課題	きた。平 にも、- 茅野市 内	『成26年』 -定の活動	をからは、 かを行って ない ない	、平成: ている: ラブ全	者クラブ 25年度に 場合に補い てにおい となる。	茅野市 助金を	高齢者 ·交付す	ナクラ -るこ	ブ連合会とになっ	会に加 った。	込っ	されて まり、	いなが 一定の	かった D活動	:高齢者 を行っ	クラ こ	ブ 5	記号の定義 BCD 事年度	計と事事財産事事財産事業別を表当の事業が必要にある。本の事業が必要にある。というできません。	に改善が容・実施要 休・廃止	が必要 も主体 上の検 C
н		i	細	施	策	評	i	価		前			細		施		策		評	価	後	
	総					者クラブ														会に加入して		
E	슫					活動支援 ての単位														として行って 者クラブのŧ		
С		助金交付	トによるだ	動支援	を行う	ことになっ	った。	このこ	とで	、茅野市	すに	助金	交付に	こよる	活動3	を援を作	ううこ	١١ع	こなった	。このことで	で、茅野	市に
	評					がより活 初の事業														なることを[を超える活動		
K	価		クラブカ			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							齢者				_,,,,				-	
)	Щ	前年	度改革	革・改	(善)	乗の 実	施丬	犬 況	_	部実	施	前	年度:	細施負	策評	価にま	うける	5 今	後のス	方向性		_
改	今	i	細	施	策	評	i	価		前			細		施		策		評	価	後	
革	を	成	拡 充	5		2	(5) I	1	7		成	ŧ	<u></u>	充					レ		
改		果	現状維持	į		3	(6)		9		果	I	見状維持	持							
善	の	の 							i	<u> </u>		の方			小							
の方	方	向	縮小			4	0	8)		W .		向									ļ	
の向性	向	性 —	休廃业									性		木廃.	止	LI.						
性	性			皆	減 コフ			現状維の			大			_		皆っ	減 ス	縮ト	小 投	現状維持 へ の 方	拡向性	大
(A C F I O Z)	改革・改善策	平成29年 を提出さ 行う。	度は、- れた場合	-定の活 合、単位	助を行	、 「	、事業	計画	や収	支予算	tを -	多質	書等	を提出	されり	5、一页 ≿場合 、	2の活 単位	動を高齢	行って	おり、事業i ブおよび地図	十画書や	
₽		压左口:	7	*00 <i>4</i> -5-5	11.00	旦 <i>い</i> か :	≣ਗ / ग	主 1	·						<u> </u>				1	= 4	D# -	
菆:		価年月日	1 平成	29年5月	H	最終 [計 価	頁 任	:首				局斷	者·保	使課	支				両 角	勝	元

事務	事事	Ě名	シルバー	-人村·	センタ	一助	成事業	ŧ							事業期	間平原	戈	~		年度	整理番号	03010407
担	当部	署	健康福祉	止部			地域福	基祉推	進課		高齢者	・介	護保陽	倹係	作成担:	当者名	伊	藤	浩	志	連絡先	337
計	おり	ナる	プラン 位置づ <u></u> 事業	i († 1		∵策(事務	策 策 策 事業	02	シルバ	高い活	齢者(動と社	こ支えあ 呆健福祉 社会参加 ンター助	の充実への支持	E	ノく暮 り				頁 01 目	04 事業 04
画	事	<u>··</u> 務事	デ 業の概 _{わかりやす}	要がま	年退るシ野市	職者や ルバー 、富士	高年 -人材 -見町	齢退職 センタ 、原村	者の家一に即	优業機会 助成を行 対運営で	をの増え すう。 きあり、	富士	見町	、原村か	いらの負	ため、担金が	定年退ある。	職者等	手の希望	望に応	じた就業の	機会を提供
			と 背 うして	京																	等の就業権 要がある <i>†</i>	幾会の開拓や ≿め。
^	目	対象	受益 (誰のため 対 (直接働きか	(E)	:益社]上	団法ノ	茅	野広域	シルノ	《一人村	オセンタ	9 —										
	的	(どん	意図	いか)	齢者	の生き	きがい	の充実	と社会	会参加か	図られ	iā.	2ンタ	一で行∤	つれる無	料の職	業紹介	事業等	等を通!	じ、就	業の機会だ	が確保され、
L			・ 方 やって	法	益社	団法ノ	茅	野広域	シルノ	《一人村	†セン	9 —										
			行政活動	かの結:	果から	つく	りだす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出	方法・	計算式	目标	票値設	定の≉	え方など	最終目標値
N	評価指	活動指標	高齢者がる	パシル	<u>₹—</u> ,	、材セ	ンター	-の会	とな	会員数	Į.			,	シル/末)	ペー人権	オセンタ	∌ — თ	会員数	女(毎:	年度3月	700
)	指標の作		成	果 .	対	1 果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出	方法・	計算式	· 目 #	票値設	定の≉	きえ方など	最終目標値
	成	成果	シルバー							受注件				件	シル	一人					数(毎年	3, 500
		指標	高齢者の		-		· , <u> </u>	L10 - PE 7		就業人				.г				祭に就	労につ	いた	者の実人	590

	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	M	事業費等	(a)	円	14, 250, 000	13, 650, 000	13, 150, 000	12, 650, 000	12, 621, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地 方	債	円					
		その他特定財		円	5, 185, 024	4, 961, 684	4, 772, 573	4, 591, 106	4, 250, 000
eder.	訳	一 般 財	源	円	9, 064, 976	8, 688, 316	8, 377, 427	8, 058, 894	8, 371, 000
施	職	正規職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	員	嘱 託 職	員	· 스					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
		対象 (者) (表現 (表)	数						
			(b)						
			(b)	円	-	_	_	-	_
況		受 益 者 負 担 市民一人当たりのコス	額	円円	054.00	044.00	000 00	220 00	220.00
	_	り 氏一人 ヨ に り の コス		17	254. 00 700	244. 00 700	236. 00 700	228. 00 700	229. 00 700
		会員数	目標 実績	人	584	700 581	615	612	620
		公贝以	達成率	%	83, 43	83, 00	87. 86	87. 43	88, 57
	活		目標	70	00.40	00.00	07.00	07.40	00. 57
	動	_	実績	_					
	指		達成率	%	_	_		_	_
D	標		目標						
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
o			目標	Jel.	3, 500	3, 500	3, 500	3, 500	3, 500
	成	受注件数	実績	件	3, 262	3, 274	3, 250	3, 623	3, 600
	果		達成率	%	93. 20	93. 54	92. 86	103. 51	102. 86
	指		目標		700	590	590	590	590
		就業人数	実績	ᄉ	554	550	547	546	550
			達成率	%	79. 14	93. 22	92. 71	92. 54	93. 22
	備	※平成28年度の活動指標	、成果	指標に	は、29年1月末時点の	<u>もの。</u>			
	10113								
	考								

				人材セ	ンター										業期間		L	~			整理番)30104	
担旨	当部	署健	康福祉	部		地域	福祉推	進課		高齡	者・介	護保	険係	作		名	伊	藤	浩	志	連絡分	も	337	
	期			E	= 標							実	结							課	語			
四		公益社 へ補助	t団法。 金交付	書の更 人茅野』	新 広域シノ		人材セン	ター	・公益さ へ補助	t団法. 金交付	書の更 人茅野!	新 太域:	ンルノ		センター	_	特になし				KE			
	第 2 期	の状況	確認				人材セン	/9-		月、事					センター、状況の		特になし							
2	3 期	村担当間 ・3市町村	との話 担当課 団法人ま	J合い の協議 5野広域:			ンターと3i ンターと3i		・左記 <i>0</i> 在の3間 作成す	5町村(い、協 の人口を	議を	行い、	. 28年16 29年度:)月1日現 負担金第	見をを	特になし							
ے	第 4 期	・公益社 の状況		人茅野瓜	太域シル	レバー。	人材セン			月、事					ヤンター、状況で		特になし							
•										事	中		評	価										
Ø.	当年	F度開始	台後、統	約6ヶ月	月が経	過し、	新たに	生じた	□問題点	や環	竟の変	比之	,成	拡	充			2		(5	Ć)	
	特に	なし。											7 果					j		········				
管												12	美 の	,	伏維持			3		Ų	<u>6</u> レ	(ע	
												0	りた		小			4)	(8	1	0	
理							求事項		革・改	善策)			5 性		廃止	1)							
埋	平成	29年度	補助金	複に基	づき予	算要求	を行う。					Ę	5	-		<u> </u>	当 減	統	5	//\	現状維持	违 ‡	 広	大
											±			-	ョ <i>//9</i> コ ス		-	. 入						
											±	_				\ r	12		0) ,	יו ני	בו ני	-		
Ī	Ē	平価年	蒦	2	当年度																			
		点	Ĩ	妥	当		生		有	玅		3		率	性		総	合	· 評	価	判	定		
		の観点	ā 1	1 2	3	4	判定	1	1 2	3	4	性	定	1 1		3		判定	1,10		н	i peri	1, ,	
評		ェック					4						1					4			Α	.		
価(C							ヾ一人材ことは難			自立促	進であ	9 . :	また	配分金加	いらもシ	1111	(一人材	セン	記号の定義前	B:事の事 D: E度総	画が重要が が重要を が重要を は変現を は変現を はいる はでいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる は	か方にi ・内容 が必要 合、休 判定	改善が ・実施 ・廃止	必要 主体 の検
н			細	施	ī	策	Ē	T .	価		前			細	1	施	策		評		価		发	
	総	シルバ	一人材	センタ	<u>.</u> 一は法	律で化	2置づけ	5ht	と組織す	であり	ing 補助	金に	シル	ィー人	材センタ	7 —	は法律で	位置	づけら	nt:	組織で	あり、	補助	金に
Е		שייוכי	も国の	基準か	മാ എം	尹野川	1266	い国の	/) 奉牛	一对心	してい	\ \ \ \ \	・コレ・	しも国	の参手を	יססינ	つ。 才玉	7 ⊕ 7		ト国の	巻牛 〜	別心し	, C 61	$\setminus D$
	合	同だが	、富士	見町、	原村と	協議し	んながら	検討	してい	(28	になる	•	同だ	が、富	士見町、	原	村と協議	しな	がら枝	耐し	ていく	261	なる	•
С	評																							
ĸ	пΤ																							
	価												L											
)		前年	度。	改 革	· 改	善策	の実	施	状況	実	施	済	前	F 度 細	施策	评価	iにおり	ナる [・]	今後(の方	向 性			
改	今		細	施	į	策	Ē	Ŧ	価		前			細	1	施	策		評		価	i	後	
革		成	拡	充			2		⑤		7		成	拡	充									
改	後	果	担什	 維持			3			j.	9		果		大維持									
善	の	の 方						i		j			の方											
6	方	向	縮	小			4		8		10		向	縮	小									
方向	向	性	休月	톤 止	1								性	休	廃止									
性	性	_			皆	減	縮	小	現状約	推持	拡	大				1	当 減	絲	音 /	J\	現状維持	寺	広	大
$\widehat{}$	IT.					コス		投入			性		_							入			性	
A	改	シルバ	一人材	センタ	ーは法 なる	律で位	ス置づけ ラとして	られた	に組織す	であり	、補助:	金にくせ					は法律で る。茅野				組織では		補助	
C	革	向だが	、富士	更明、	原村と	お話し	ながら	検討	でを学している	くこと	になる	` //	向だ	が、富	士見町、	原	村と協議	しな	がら杉	討し	ていく	ことに	なる	•
T	•												なお	, 27	年度ま	での	3年間で	助成	額を大	幅に	削減し	ており	. 3	0年
0	改美														は、コス 護をして		を現状組 く。	持と	9 0.	しか	し、学	変もだ	1917	沉寺
N _Z	善策													J			• •							
	水												<u> </u>											
		西年月		平成29			最 終							高齢者		_				両	角		7	Ē

事務	事第	(名	高齢者福祉·	セン	ターは	重要の	湯管	理運営	事業						事業期間	平原	ţ	~		年度	整理番号	030 1	0409
担当	当部	署	健康福祉部			地	域福	祉推進	課		高齢者	· 介	護保障	食係	作成担当	者名	北	沢	賢	_	連絡先	3	34
			プランに 位置づけ	有	政分	策 体	系	政施 施事務事		02 01		高い活	齢者(動と	こ支えあ 保健福祉 社会参加・ 一塩壺の	の充実 への支援		ノく暮り	らせる	まち゛	づくり			
計	予	算	事 業 名	高調	者福	祉セ	ンター	-塩壺の	の湯管	理運営	生費					会計	 	Ö 00	1 款	03	項 01 E	04 事	業 06
画			· 業 の 概 要 っかりゃすく)	た。	平成	26	年2月	からに	ま、施	設の智	理運	営を打	定管	理者へ委	託し、高	齢者	福祉セ	ンター	-塩壷	の湯の	了し、2 管理運営 、利用料	を実施	してい
			と 背 景うして)				舌動(り拠点と	とし、	高齢者	≝は、 ●の健服 である。	東増 治	也方公 生等や	共団体の レクリエ	責務とさ ーション	れて ノ等の	おり、 ふれあ	茅野i いやi	fは、 igいの	高齢者場とし	福祉セン .て活用し	ターを ていた	島齢者 どくた
(目	対	受益者 (誰のために)			住す	3 65	5歳以_	Lのi	静者等	手とその	の付え	人及	び高齢者	クラブカ	1入者							
P		象	対象 (直接働きかける)	同上																			
	的	(どん	意図な状態にしたいか)		者同る。	士の :	交流と	∶健康□	曾進等	を図る	らため、	入》	谷施設	、レクリ	エーショ	ンの	ための	便宜等	きを供	与する	ことによ	り利用(の促進
L A			方法やって)	施設	との管	理運	営を打	旨定管 理	理者へ	委託し	ン、連抜	夢をも	Ŀり、	指定 管 理	者による	適正	な施設	の管理	里運営	を実施	iする。		
			行政活動の	結果:	からこ	つくり	だす	ものは	何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・	計算式	・目标	票値設	定のす	きえ方なる	ご 最終	目標値
N	評		快適な施設 がされた状	音理 兄で	が行れ 開館す	っれ、 トる	利用	環境の	整備	開館日	数			B									
	価指	指標	高齢者等に	施設	を利用	見して	いた	だく		利用者	数			人								60	0,000
	標の																						
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・	計算式	・目	票値設	定の参	きえ方なる	≟ 最終	目標値
	成	果指	施設の利用	が促	進され	1 3				平均和	川君巻	ţ .		人	開館日	の平均	9利用	者数					200
		標																					

	項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
		(a)	円	4, 586, 817	37, 138, 197	32, 502, 498	28, 797, 058	35, 080, 000
	財国庫支出	金	円					
	漏 │ 県 支 出	金	円					
	地 万	債	円					
	ての他特定別	源	円					
	訳 一般財	源	円	4, 586, 817	37, 138, 197	32, 502, 498	28, 797, 058	35, 080, 000
施	職 正 規 職	員	人	0. 05	0. 10	0. 10	0. 10	
	嶌│嘱 託 職	員	人					
	踊 時 順	員	人					
状	数合	計	人	0. 05	0. 10	0. 10	0. 10	
1	対 象 (者)	数						
		(b)		2, 739	51, 093			
		(b)	円	1, 675	727	_	_	_
況	受 益 者 負 担	額	円					
	市民一人当たりのコス		円	82. 00	663. 00	583. 00	519.00	633. 00
		目標	в	51	300	307	305	309
	開館日数	実績		29	307	309	305	309
	活	達成率	%	56. 86	102. 33	100. 65	100.00	100.00
	動	目標	人	10, 200	60, 000	60, 000	60, 000	60, 000
	動 <mark>利用者数</mark>	実績		2, 739	51, 093	54, 621	57, 494	58, 000
D	標	達成率	%	26. 85	85 . 16	91. 04	95. 82	96. 67
	「示	目標	_					
	_	実績						
		達成率	%	_	_		_	
0		目標	人	200	200	200	200	200
	成 平均利用者数	実績		94	166	176	188	190
	果	達成率	%	47. 00	83. 00	88. 00	94. 00	95. 00
\cup	指	目標	_					
	標 一	実績						
		達成率	%	_			_	_
	借 本人福祉センター建て替 平成25年度の開館日数、	えに伴 利用者	÷い、₹ f数は、	平成24年度の開館日数 2月25日から3月末 1	(、利用者数は、11月 までの2ヶ月間の実約	末までの8ヶ月間の 責。	実績 。	

		業名 高齢者		グー塩里							事業期間		K.	~	2	年度	整理番号	03010	
担:	当 部	署に健康福	祉部		地域福	祉推進	課	5齢者・介	護保険	係	作成担当:	者名	北	沢	賢 -	-	連絡先	33	34
	期			= 標					実 績	Ī						課品	頁		
		W ctoo &				- 15 7 +			24 12				•指定管	埋有			公鼻が実	他できれ	3
	第	・平成29年 針を固め、				-徐る力	"官理連盟	委託料支持			交し及び		かった。						
疋]	·管理運営	チがり 委託料1期	別分の支	払い。			\$13,550,00									適正な施		
	期	·指定管理					"拍走官理	者から利用	fi 有 (人)	たの報言	Ī		呂で夫』 る。	也し、不	リ用有り	ノ増加	、コストの	門滅(一:	95 W)
半	第	. 化白色斑	*ハ草の	20 Hz			·指定管理	者の公募を	を7/15だ	から9/15	の期間で	実	・指定管	理に依	系る手制	売きをi	星れなく進	める。	
Ŧ	2	・指定管理 ・管理運営			#J.N.		施。						·指定管	理者と	上連携を	とり、	適正な施	役の管	理運
	期	·指定管理			,,,,,			委託料2期						をし、 末	リ用者の	り増加	、コストの	削減に	努め
期		=						者から利用 者の指定にな					<u>る。</u>						
	第	・指定管理		テい、12月	月定例会	に関係	た。	日の相比に	いいの間	米で使い	ロ、リスで		・指定管	理者と	≥の協定	2締結	を進める。		TER 1982
	3	議案を上程 ・管理運営		1分の支持	払い。		•管理運営	委託料につい	いて、当	初計画よ	り経費がた	1.71.	世を実施	1年1日で	- 連携で 用者の	にとり、	適正な施	以の官は	理理 努め
1	期	·指定管理					りなくなり、	2,162,500円	の文払い	、、(4期	の文払はる		る。						
	**																		
	第 4	·指定管理	に係る協力	を書の締	結を行う	j.		者との協定					-29年月	まから	管理運	営につ	いては、ま	也域福祉	祉課
۲	期	·指定管理	者との連	5.			·指定管理	者から利用	者状況	兄の報告	Ť		福祉総	務係と	なるため	め、引	継ぎを行う	•	
	793																		
_O								事 中		F A	6								
	当年	丰度開始後	、約6ヶ	月が経過	弘し、新	たに生し	こた問題点や	環境の変化	化今		拡 充	,		2		5)	7	
									後	果	現状維持			3		6		9	
管										¥									
									の	力	縮小			4		8)	10	
理		新年度	の実施記	画・予	算要求	事項(改革・改善	策)	方		木 廃 止	1)						
埋									向	_			当 派	或 縮	ار 5	\		拡	大
											/	E			-				
									性				コ ;	スト	' 技	^	の方	向作	生
	-	评価年度		当年度															
					,h4L		+	÷L .	사		÷L	 	,l.4L		4//	^	=a /ac	dat	_
		点点	妥	当	性	lai eta	有		性		効	率	性		総	合	評価	判	定
評		師の観点	1 2	3	4	判定	1 2	3 4	判定	: 1	2	3	4	判定	_				
		ェック				4		レ	3					4				w w -	
						が、利	用者のさらな	る利便性	の向上	、利用	者増に結び	ゾ付〈	活動に	結び	記		画どおり事 が適当	業を進め	めるこ
価	= ⊞	付けていく施設の設定				冬場の	更衣室が寒し	など) に	関する	苦情と	への対応い	<i>و بر</i> =	ひように	动体			・過雪 業の進め方	に改善が	が必要
ТШ	課							J , ,): 事為	業規模・内	容・実別	施主体
		するべきが	'、快制で	一安りつ。	1											Ω E	1 古し おき) L 1-T-
		9 0^ EX	い、使制で	安りる。	•										定 義 [見直しが必 業の統合、		
(題	9 0 ^ = 1	、 快制で	安りる。											義□):事 討 <i>だ</i>	業の統合、 が必要	休・廃⊥	止の検
(c	題	9 0^ ∈ 1	、 使制で	(安,句。											義 前年): 事 討 討 度総合	業の統合、 が必要 合評価判定	休・廃」	止の検 B
	題														前年): 事 討 討 度総合	業の統合、 が必要 合評価判定 ート整理番	休・廃」 <u>:</u> 0301 号 0301	止の検 B
(о т	413	細	ħ	<u> </u>	策	評	価	前			_	施	策		前年前年度): 事業 <u>討が</u> 度総名 評価シ	業の統合、 が必要 合評価判定 一ト整理番	休・廃」 号 0301 後	止の検 B 10412
н	413	高齢者の3	抗医流、健康	五 〔維持增〕〕	策	予防の	場として、末	川用者が着		齢者の	交流、健	康維	持増進、	介護	義 前年 前年度 評):事計 度総合	業の統合、 が必要 合評価判定 一ト整理番 価 て、利用	休・廃」 号 0301 後 き が着	止の検 B 10412
	総	高齢者の3増加してし	が を流、健康 いる。今後		策 進、介語 管理者に	手防の よる適		川用者が着	でき 堆	齢者の加して	- 交流、健 いる。今	康維後も	持増進、 指定管理	介護 里者に	義前年 静かる適):事 財 度総合 評価 と が	業の統合、 が必要 合評価判定 一ト整理番 価 へで、利用 を設の管理	休・廃」 号 0301 後 目者が着 関連営か	止の検 B 10412 *実に パでき
н	総	高齢者の3増加してし	が を流、健康 いる。今後		策 進、介語 管理者に	手防の よる適	場として、末	川用者が着	でき 堆	齢者の加して	- 交流、健 いる。今	康維後も	持増進、 指定管理	介護 里者に	義前年 静かる適):事 財 度総合 評価 と が	業の統合、 が必要 合評価判定 一ト整理番 価 て、利用	休・廃」 号 0301 後 目者が着 関連営か	止の検 B 10412 *実に パでき
HE	総	高齢者の3増加してし	が を流、健康 いる。今後		策 進、介語 管理者に	手防の よる適		川用者が着	でき 堆	齢者の加して	- 交流、健 いる。今	康維後も	持増進、 指定管理	介護 里者に	義前年 静かる適):事 財 度総合 評価 と が	業の統合、 が必要 合評価判定 一ト整理番 価 へで、利用 を設の管理	休・廃」 号 0301 後 目者が着 関連営か	止の検 B 10412 *実に パでき
H E	総合評	高齢者の3増加してし	が を流、健康 いる。今後		策 進、介語 管理者に	手防の よる適		川用者が着	でき 堆	齢者の加して	- 交流、健 いる。今	康維後も	持増進、 指定管理	介護 里者に	義前年 静かる適):事 財 度総合 評価 と が	業の統合、 が必要 合評価判定 一ト整理番 価 へで、利用 を設の管理	休・廃」 号 0301 後 目者が着 関連営か	止の検 B 10412 *実に パでき
ншс	総合	細 高齢者の3 増加してしるように3	が を流、健康 いる。今後 みめるとと	を 経持増設 も指定化 さもに、さ	策 進、介語 き 理者に さらに 和	逐予防の5 こよる適〕 川用しや ⁵	場として、承正な施設の間	川用者が着 許理運営が していく。	でき増る	が 計加して いように	- 交流、健 いる。今 努めると	康維 きとも	持増進、 指定管理 に、さら	介護理者に	義 印年度 評の適 や): 事が 度 評価 とない はないが	業の統要 会評・事業 一トを整理 一大変を 一大変を 一大変を である。 一大変を である。 一大変を である。 一大変を である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	休・廃」 号 0301 後 目者が着 関連営か	止の検 B 10412 *実に パでき
н ш ск)	総合評	細高 高齢者の3 増加している るようにき 前年度	加 施流、健康 いる。今後 めるとと	医維持増設 をも指定を ・もに、 さ	策 性、介間 管理者に おらに 新	予防の はよる適は は用しやで の実が	場として、利正な施設の質すい施設とし	利用者が着 対理運営が とていく。	でき増る	静者の おうに 前年度	交流、健 い 努 めると	康維も設と	持増進、 指定管理 に、さ i に お	介護 理者に利 ける	事業 前 評 いっぱい あんし 後 で の で の で の で の で の で の で の で の で の で): 事が 度 評価 とない はないが	業の統要 会評・事業 一トを整理 一大変を 一大変を 一大変を である。 一大変を である。 一大変を である。 一大変を である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	休・廃」 	止の検 B 10412 *実に パでき
H E C K) 改	総合評	細 高齢者の3 増加してしるように3	が 施流、健康 いる。今後 めるとと	医維持増設 をも指定を ・もに、 さ	策 進、介語 き 理者に さらに 和	逐予防の5 こよる適〕 川用しや ⁵	場として、承正な施設の間	川用者が着 許理運営が していく。	でき増る	静者の おうに 前年度	交流、健 い 努 めると	康維 きとも	持増進、 指定管理 に、さら	介護 理者に利 ける	義 印年度 評の適 や): 事が 度 評価 とない はないが	業の統要 会評・事業 一トを整理 一大変を 一大変を 一大変を である。 一大変を である。 一大変を である。 一大変を である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	休・廃」 号 0301 後 目者が着 関連営か	止の検 B 10412 *実に パでき
н ш ск)	総合評価	高齢加ように多	が を流、健康 いる。今と そめるとと	医維持増設 をも指定を ・もに、 さ	策 性、介間 管理者に おらに 新	予防の よる 前用しや の 実 評	場として、利正な施設の質すい施設とし	利用者が着 対理運営が とていく。	でき 増 る	か か は の は ら よ う に 前 年 度	交流、健 い 努 めると	康後と評価	持増進、 指定管理 に、さ i に お	介護 理者に利 ける	事業 前 評 いっぱい あんし 後 で の で の で の で の で の で の で の で の で の で): 事が 度 評価 とない はないが	業の統要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	休・廃」 	止の検 B 10412 *実に パでき
H E C K) 改革・	総合評価今後	高増る 前 成果	が は	医維持増設 をも指定を ・もに、 さ	策 作	後予防の は こよる適 い用しや で 実 が 評	場として、利益をおりますの。 おおおお おおお おおお おおい 施設として、利益を対象として、対象として、対象として、対象として、対象に対象として、対象に対象として、対象に対象として、対象に対象として、対象に対象として、対象に対象に対象として、対象に対象に対象に対象に対象に対象として、対象に対象に対象として、対象に対象に対象として、対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	明用者が着き理違常が、これでいく。	でき ^増 る	が が が かよう で を を を が 成果	交流への を	康後と評価	持増進、 指定管理 に、さ i に お	介護 理者に利 ける	事業 前 評 いっぱい あんし 後 で の で の で の で の で の で の で の で の で の で): 事が 度 評価 とない はないが	業の統要 (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	休・廃」 	止の検 B 10412 *実に パでき
H E C K) 改革·改善	総合評価	細 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が を た た た た の と と と と と と と と と と と と と	医維持増設 をも指定を ・もに、 さ	策 作業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	である。 実が アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	場として、 正な施設の管 すい施設とし 値 状 況 値	明用者が着き 理運営が とていく。 実施 前 ②	でき ^増 る	「 が か は も は ま も は は は は は は は は は は は に は に に に に に に に に に に に に に	交流、(位今) おおい の	康維も 評価	持増進、 指定管理 に、さ i に お	介護 理者に利 ける	事業 前 評 いっぱい あんし 後 で の で の で の で の で の で の で の で の で の で): 事が 度 評価 とない はないが	業の統要 (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	休・廃」 	止の検 B 10412 *実に パでき
H E C K) 改革・改善の	総合評価今後	高増る 前 成果	が を たへる。 を と と と と と と と と と と と と と	医維持増設 をも指定を ・もに、 さ	策 作	である。 実が アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	場として、利益をおりますの。 おおおお おおお おおお おおい 施設として、利益を対象として、対象として、対象として、対象として、対象に対象として、対象に対象として、対象に対象として、対象に対象として、対象に対象として、対象に対象に対象として、対象に対象に対象に対象に対象に対象として、対象に対象に対象として、対象に対象に対象として、対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	明用者が着き理違常が、これでいく。	でき ^増 る	「 が か は も は ま も は は は は は は は は は は は に は に に に に に に に に に に に に に	交流への を	康維も 評価	持増進、 指定管理 に、さ i に お	介護 理者に利 ける	事業 前 評 いっぱい あんし 後 で の で の で の で の で の で の で の で の で の で): 事が 度 評価 とない はないが	業の統要 (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	休・廃」 	止の検 B 10412 *実に パでき
H E C K) 改革・改善の	総合評価 今後の方	細がいる 前 成果の方向:	が を た た た た の と と と と と と と と と と と と と	医維持増設 をも指定を ・もに、 さ	策 作業 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	である。 実が アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	場として、 正な施設の管 すい施設とし 値 状 況 値	明用者が着き 理運営が とていく。 実施 前 ②	でき ^増 る	「齢者」 成果の方向: 度 4 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	交流、(位今) おおい の	康維も 評価	持増進、 指定管理 に、さ i に お	介護 理者に利 ける	事義 前 評 いるし 後 で の で の で の で の で の で の で の で の で の で): 事が 度 評価 とない はないが	業の統要 (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	休・廃」 	止の検 B 10412 *実に パでき
H E C K) 改革・改善の方向	総合評価 今後の方向	細がいる 前 成果の方向:	が は	・改善・改善	策 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	場として、 正な施設の管 すい施設とし を 状況 (5) レ (6) (8)	明用者が着き理理性が 対理では 対理では 対理では 前で (3) (1)	r き ^増 る	「齢者」 成果の方向: 度 4 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	交流 の	康後と 評 施	特増進、指定管理に、さら	介護理者に利ける。	義 前年度 野): 事計総合度評価となが方下	業の (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	休・廃」 号 030m 後 書者が 程連営か にいく。	此の検 B 10412 事実 に ができ
H E C K) 改革・改善の	総合評価 今後の方	細がいる 前 成果の方向:	が は	・改善・改善・	策 作業 (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	では、	場として、 正な施設の を状況 (5) レ (6) (8)	明用者が着き 理運営が でいく。 声 で で で で で	でき ^増 る	「齢者」 成果の方向: 度 4 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	交流 の	康後と 評 施	持増進、 指定管理 に、さ i に お	介護に対ける。	義 前 年度 野 予よ用 今 評): 事計総価シ 度評価となが 方「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」<th>業が合 一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中<</th><th>休・廃」 号 030 後 者が発 記述さ。</th><th>此の検 B 10412 事実にき 大</th>	業が合 一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中<	休・廃」 号 030 後 者が発 記述さ。	此の検 B 10412 事実にき 大
H E C K) 改革・改善の方向	総合評価 今後の方向性	細がいる 前 成果の方向:	が	を を を ・ 改 ・ 改 ・ 改 ・ 数	策・理らい策・策・減ス	である。 では、大きないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	場として、 正な施設とし を 状況 (5) レ (6) (8)	 用者が着き理違営が 大田 1 	でき 済 「	「齢者」 成果の方向: 度 4 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	交い努め 施 財	原後と 評 施	特増進等に、には、	介護 理者に利 ける ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	義 前 年度 評 の適 や 後 評 / 投	主 計総 (本)となか)方 (本)	業が合一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体一体中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中<	休・廃」 号 030m 後 者が潜 返にいく。 後	此の検 B 10412 等実 にき
H E C K) 改革・改善の方向性(A C	総合評価 今後の方向性 改	細 3 に 3 前 成果の方向性	が は	を を を を を を を を を を を を を を	策 ・ 	である。 では、大きないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	場として、 を を を を を を を を を を を を を	 用者が着き理違営が 大田 1 	で 済 「清 大 適 指	いた から 	交い努め 施 財	康後と 評 施	特増に、には、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	介護 理者に け し は ス ー ビ ス ー に メ ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 、 ス ー 、 、 ス ー 、 、 こ と 、 こ と 、 こ と 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と	義 前 年度 評 の適 や 後 評 / 投	主 計総 (本)となか)方 (本)	業が合 一 (価) の必評トト (面) (で) (を) (で) (を) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (() (で) () (で) () () 	休・廃」 号 030m 後 者が潜 返にいく。 後	此の検 B 10412 等実 にき
H E C K) 改革・改善の方向性(ACT	総合評価 今後の方向性	高増る 前 成果の方向性 造 管 細 折 野 絲 付 達	が は	を を を を を を を を を を を を を を	策 ・ 	である。 では、大きないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	場として、 を を を を を を を を を を を を を	 用者が着き理違営が 大田 1 	で 済 「清 大 適 指	いた から 	交い努物 細田 拡 現 縮 休 者と連携	康後と 評 施	特増に、には、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	介護 理者に け し は ス ー ビ ス ー に メ ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 ス ー 、 、 ス ー 、 、 ス ー 、 、 こ と 、 こ と 、 こ と 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と	義 前 年度 評 の適 や 後 評 / 投	主 計総 (本)となか)方 (本)	業が合 一 (価) の必評トト (面) (で) (を) (で) (を) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (() (で) () (で) () () 	休・廃」 号 030m 後 者が潜 返にいく。 後	此の検 B 10412 等実 にき
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	総合評価 今後の方向性 改革・	高増る 前 成果の方向性 造 管 細 折 野 絲 付 達	が は	を を を を を を を を を を を を を を	策 ・ 	である。 では、大きないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	場として、 を を を を を を を を を を を を を	 用者が着き理違営が 大田 1 	で 済 「清 大 適 指	いた から 	交い努物 細田 拡 現 縮 休 者と連携	康後と 評 施	特増に、には、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	介護 理者に け し は ス ー ビ ス ー に 系 ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス	義 前 年度 評 の適 や 後 評 / 投	主 計総 (本)となか)方 (本)	業が合 一 (価) の必評トト (面) (で) (を) (で) (を) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (() (で) (で) (で) (で) (で) (で) () (で) () (で) () (で) () (で) () ()	休・廃」 号 030m 後 者が潜 返にいく。 後	此の検 B 10412 等実 にき
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTIO	総合評価 今後の方向性 改革・改	高増る 前 成果の方向性 造 管 細 折 野 絲 付 達	が は	を を を を を を を を を を を を を を	策 ・ 	である。 では、大きないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	場として、 を を を を を を を を を を を を を	 用者が着き理違営が 大田 1 	で 済 「清 大 適 指	いた から 	交い努物 細田 拡 現 縮 休 者と連携	康後と 評 施	特増に、には、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	介護 理者に け し は ス ー ビ ス ー に 系 ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス	義 前 年度 評 の適 や 後 評 / 投	主 計総 (本)となか)方 (本)	業が合 一 (価) の必評トト (面) (で) (を) (で) (を) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (() (で) (で) (で) (で) (で) (で) () (で) () (で) () (で) () (で) () ()	休・廃」 号 030m 後 者が潜 返にいく。 後	此の検 B 10412 等実 にき
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	総合評価 今後の方向性 改革・改善	高増る 前 成果の方向性 造 管 細 折 野 絲 付 達	が は	を を を を を を を を を を を を を を	策 ・ 	である。 では、大きないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	場として、 を を を を を を を を を を を を を	 用者が着き理違営が 大田 1 	で 済 「清 大 適 指	いた から 	交い努物 細田 拡 現 縮 休 者と連携	康後と 評 施	特増に、には、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	介護 理者に け し は ス ー ビ ス ー に 系 ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス	義 前 年度 評 の適 や 後 評 / 投	主 計総 (本)となか)方 (本)	業が合 一 (価) の必評トト (面) (で) (を) (で) (を) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (() (で) (で) (で) (で) (で) (で) () (で) () (で) () (で) () (で) () ()	休・廃」 号 030m 後 者が潜 返にいく。 後	此の検 B 10412 等実 にき
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTION)	総合評価 今後の方向性 改革・改善策	高増る 前 成果の方向性 造 管 細 折 野 絲 付 達	が は	を を を を を を を を を を を を を を	策、理ら	養予防の の 実 評 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	場として、 を を を を を を を を を を を を を	明用者が着き、	で 済 「清 大 適 指	「	交い努物 細田 拡 現 縮 休 者と連携	廉後と 評 施 を営	特増に、には、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	介護 理者に け し は ス ー ビ ス ー に 系 ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス	義 前 年度 評 の適 や 後 評 / 投	主 計総 (本)となか)方 (本)	 業が合一値で設施 一値で設施 性値 大の指 大の指 大の指 大の指 大の指 	休・廃」 号 030m 後 者が潜 返にいく。 後	此の検 B 10412 等実 にき

事務	事第	(名	諏訪広域連1	合介	護保	険事 事	集計 画	東京	≧・推	進事	業							事	業期間	間 :	平成	24	~	26	年	度	整理都	肾 号	030104	147
担当	当部	署	健康福祉部			į	也域者	畐祉	推進課	ţ		高	鈴者	• গ	護保	険係		作月	戓担≌	当者	名	鳥	立	広	樹		連絡	先	336	1
			プランに 位置づけ	有	政	策体	系		-	策	01 02 02 01	第介		障 σ.	5互い 齢者 推進 業計	保健と介	福祉 護予	防の	き実	Ę				まち	づく	Ŋ				
計	予	算	事業名																			¬ — ŀ			欠 0:			目	11 事業	
曲	事務	务 事 潔 ⋷ ネ	· 業 の 概 要 _{わかりやすく)}	介置た計	隻保険 †画を	施設 推進	等の し、	整備平成	を計i 27年)	画的に 変かに	らの	うた 第63	:めに 朝介[:策) 護保	定する 検事	業計	画です 画の	推進	諏訪! Éを進	広場	連合る。	の構	成市	町村と	として	C.	諏訪広	域通	料の設定 [合が計]	画し
			さずまうして)	事	運営	を計	画的	に実				支援	認定	者(は増え	続け	t、1	个護	給付	費か	《急激	に増	加し [·]	ていま	ドす 。	介	護サー	ビス	の必要	₽ や
•	目	対	(誰のために)			被保				给 ++-	- 64 -	2 坦	(仕 章	(士)	<u>*</u>															
Р		象	対象 (直接働きかける)																											
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	諏訪	方広場 方広場	要に 建合 建合	第5其 第6其	月介記 月介記	使保険 使保険	事業	計画 計画	に が	分っ 衰定	て介され	護保 る。	険事	業が	推進	E され											
L A			方法やって)	整体	きを進	める	•													•				_			时 報提信		サービス 行う。	. の
			行政活動の約	洁果:	から	つくり	りだす	ŧσ	つは何]?	指	ŧ	票	名	称	į	単化	ב ב	単出力	5法	• 計	算式	• 目:	摽値詞	没定	の考	え方な	ょど	最終目標	漂値
N	評	活動	地域密着型	ナー	ビス	が整備	情され	しる		3	作所数	数			ごス事		施設	<u>ا</u>	女(昇	計)						事業			10
	価指	指標	地域支援事	業が	実施	される	5			英	巴攻ス 女	文版	争来	<i>y</i> =	-1-	•	事業		ト野巾 女	1 °C	110	CUM	り地場	文技	争录	(()	/ = 1 -			20
	標の		介護保険委	会	· 各	部会に	を参加	ロする	5	3	員会	会参	加回	数					を 取動点 の参加			で行ね	っれ た	:介護	保険	委員	会等·	/		3
	作	成	成 果		効	果	は		?		指		•••	名	称		単位	1 1	単出力	5法	·計	算式	• 目:	標値割	没定	の考	え方な	ょど	最終目標	票値
	成		第6期介護(域密着型サー												ナる地 ス <mark>整備</mark>	<u> </u>	施設	1	を備施	設	数÷	整備目	標が	設数	×10)0				0

	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	-	事業費等	(a)	円	205, 100, 000				
	財	国庫支出	金	円	30, 000, 000				
実	源	県 支 出	金	円	171, 350, 000				
		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	3, 750, 000				
施	職	正規職	員	人	0. 05	0. 05	0. 02	0. 02	
	員	嘱 託 職	員	人	0. 01				
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 06	0. 05	0. 02	0. 02	
11		対象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	3, 653. 00	_	_	_	_
		地域密着型サービス事	目標 実績	施設	10	10	10	21	
		業所数	実績		10	10	10	21	
	活	*//*	達成率	%	100.00	100.00	100. 00	100.00	_
		地域支援事業メニュー	目標	事業	20	20	20	20	20
		数	実績		20	20	20	20	20
D	標	~	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	示		目標		4	3	3	3	6
		委員会参加回数	実績	, -	4	3	3	3	6
			達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
0		計画期間中における地	目標	施設	4	4	2	2	2
	成	域密着型サービス整備	実績		4	4	0	0	0
	果指	数	達成率	%	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00
J	指		目標	_					
	標	_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
	備	市民プラン01040301の機	阿的手	来です	T .				
	考								

					護保険		十画策定・		_					業期間		24	~	26 年	度	整理番号	03010447
担	当 剖	署健康	福祉	部		地均	ず福祉推進	課	高齢者	・介護	保険	係	作	成担当者	名	鳥	立	広 樹		連絡先	336
	期			E	標					実	€ 絹	Ę						Ē	果	題	
四	第 1 期)整備	方針に	沿った	事業所	、茅野市内 fの再公募		の日程オ	卡定。						き続 行う。		所の再な	〉募を	·諏訪広域	連合に協力
半期	第 2 期	第6期介施設等0 諏訪広場)整備	方針に	沿った	事業別	、茅野市内 fの再公募	を 施設に		成28年	度高	齡	者施設	居宅介記 の整備に					_		
# : :	第 3 期	第6期介施設等0 諏訪広場)整備	方針に	沿った	事業所	、茅野市内 fの再公募	を再公募	結果は、	応募無	しで	再公	く事とな	いた。	_	llき続 ン行う。		所の再な	〉募を	·諏訪広域	連合に協力
٤	第 4 期)整備	方針に	沿った	事業所	、茅野市内 fの再公募		の日程オ	卡定。						lき続: .行う。		所の再な	∖募を	·諏訪広域	連合に協力
Ø									事	中	ā	Ŧ	価		,						
	当年	‡度開始	後、紀	約6ヶ.	月が経	過し、	新たに生	じた問題。	ねや環境	の変化	今	成果		充			2		(5)	⑦
管											後	まの		状維持			3		6	レ	9
										の	方向	/1913	小			4		8)	10	
理		新年	度の	実施計	├画・-	予算要	求事項((改革・改	善策)		方	性		廃止	1						
-											向				皆	;	減 縮	小	り		拡大
											性		/			⊐	スト	· 投	入	の方	向 性
		55 /TC /= ch			/ Am offe		1														
	ᆥ	評価年度	٤	妥	当年度 当		性	有	効	性	-			効	率	性	±	総	合	評価	判定
		で Eの観点	1	女	3	4	判定	1 2	3	4	: 判定	?	1 1		4° 3	4	判定	形态			刊化
評		ェック					4		V		3	1	-				4			В	
価(C	課題	が決まら	ず未	設置で	ある。	また	第7期諏訪」	地域密着型 広域連合介 密着型サー	護保険	事業計画	画 (五	区成	30年月	E~平成3	は、 2年度	設置す	業者 計画策	記号の定義 前年	と事事の事計を総	が適当 業の進め方 業規しい 見直し統合 業の統要 が必要 合評価判定	休・廃止の検
н			細	挽	<u> </u>	策	評	価	į	前			細	į	包	÷	ŧ	評		価	後
E	総							「村が行う 業、地域			しが	護	保険事	業計画の	推進	のた	め、構	成市町村	寸が行	テラ事業	(事務) とし リサービスの
-	合	実施、要	平介護	認定(調査)	があ	るが、計画	に沿った	事業の展	開、施	設多	₹施	、要介	護認定	(調査	E) が	あるが	、計画に	こ沿っ	った事業の)展開、施設
С	評						i広域運合: めて行く。	介護保険事	来計画(の施設				かており きるよう					護保	陝事業計	画の施設整
ĸ		第7期諏	訪広均	域連合	介護保	険事業	計画(平)	成30年度~ 」しながら、			策 舅	57 #	明諏訪	広域連合	介護	保険事	業計画	1(平成			32年度) 策 を進める。
\cup	価						きの 実		実					田施策							
改	<u> </u>		細	施		策	評	価				נינ	細		包	93		評	73 1	価	後
革	今 	成	拡拡	充	<u> </u>		2	<u> </u>	7		-	成	拉					P1	1	Щ	D.
改	後	果		維持			3	6	レ 9			果									
善	の	の 	縮	小山			4	8	0			の方	縮								
の方	方	向 性					•	•	U	ע		向性									
方向地	向	— II	1个 月	廃止	1 皆	減	縮・	小 現状糸	维性 +	拡 ブ		ΙI	11	廃止	皆	; <u>5</u>	咸 統	· 小	Ţ	見状維持	拡大
性(性				. –	減 コス	:	ハ 現仏 i 入 の		性性	`	_	_						1		版 向性
A	改	第6期介	護保		計画に			内の施設等		方針に										設等の整	備方針に
C	革	地域密制	型サ	ーピス	として	地域	に展開して	かし行う。	定グルー		ᇈ	域	密着型		くとし	て地	域に展	開してい	いる	8知症グル	ノープホーム
I	· 改							業所(3事 護保険事業												について、 (平成30年	
0 Z)	善策							討に生か		,,,,,,,				2年度) (
是至	次 証	価 年 日 I	3	₩ =1 20	年5月1	5 D	最終 到	「馬害」	T +					者•保险					薾	备	職 元

事務	事	集名	高齢者保健	福祉	計画の	り策定	・推	進事業	ŧ						事業期間	平成	28	~	29	年度	整理	里番号	03010453
担	当部	署	健康福祉部			地	域福	祉推入	進課		高齢者	・介	護保険	係	作成担当	者名	神	前	陽	子	連	絡先	335
	市おり	民 ける	プランに 位置づけ	有	政策	策体	系 -	政 施 細 が 事務		01 02 02 03		険の	齢者保 推進と	健福祉 介護予	い、その の充実 防の充実 定・推進		く暮ら	せる	まち	づくり			
計	予	算	事 業 名						, ,,,								コード		款		項	目	事業
画	事為	務事	· 業の概要 pp かりゃすく)	プラ	シ 記化す	「第るたる	2 次権 かの 間	■祉 2 「齢者	1 ビー 保健社	ーナス:	プラン」 _{策に特化}	を_	上位計画	īとし、	両計画の	基本様	想に	合って	こ、そ	の理論	まかえ	本構想	茅野市民 を計画的に 法に基づく
			と 背 景うして)																				に規定する とされてい
	目	対	受益者	高計同上																			
P		象	対象(直接働きかける)			心 白./		E O /P	t± 73. 7	7生活(5#												
	的	(どん	意図 な状態にしたいか)																				
L			・ 方 法 やって)	日常見を	地取	圏域 しなが	周査 を がら、	· 実施 その	し、高課題で	高齢者 を解決 ⁻	自身の説 するため	課題 も	や地域の)課題を 法検討し	を抽出しす シ、平成30	「る。そ)年度か	の後	福祉 2計画を	2 1 茅 E 策定	野高記する。	哈者保	健福祉	部会等の意
			行政活動の	結果:	から:	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位							•		最終目標値
N	評	活動指	福祉 2 1 茅	野高	鈴者伊	保健福	祉部	会等の	り開催	開催回	数				福祉2(実績		高齢者	保健	福祉	部会等	の開作	Ě	
)	価指標の	標																					
	作	成	成果	٠	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位							-		最終目標値
	成	果指	第6期茅野市	高計	者保	健福	止計画	の完	成						第6期第	野市高	。 齢者	保健社	副祉計	画の	完成 (実	_
		標																					

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	事業計画(予算)
	=	事業費等	(a)	円					436, 000
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出 地 方	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一般財	源	円					436, 000
施	職	正 規 職	員	人					
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人					
	Ż		数						
		延利用(者)数	(b)						
	È		(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	5民一人当たりのコス		円	_	_	_	_	8. 00
			目標						
		開催回数	実績						
	活		達成率	%	_	-	_	_	-
	動指		目標	_					
	指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	-	_	_	-
	IN		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	-	-	_	_	-
0	ᆄ		目標	_					
	四	_	実績達成率	0/					
	成果指			%	_	_	_	_	_
$\overline{}$	拍	_	目標実績	_					
	標	_	達成率	%	_	_	_	_	_
			建似华	70	_	_	_	_	
	備								
	考								
	7								

	当部	長石 同	康福祉		ni El V			推進課		高齢者	. 介護	但除	<u> </u>	_	E期间 ↑		8 <u>^</u>		子子	連絡先		335
15		13 10	州八田江			PER	p→ T田 TIL '	止低床						IF//	いニコモイ	⊔ 1ª	r 61	1 192			,	000
	期			E	目 標						実	績	i						課	題		
四	第 1 期	ı																				
半期	第 2 期																					
₹	3		新着	保健福 保健福祉					·高齢者 催 ·認知症 催	保健福祉 部会	业部会	-	月~12 月~12		1回開 2回開					せを行い、i i認を行う。	計画策	定に向
٤		第6期 祉217 会の開	5齢者(保健福 保健福祉	祉計画 止部会、	策定に 福祉2	:向けで 21 認 気	て、福 叩症部	·高齢者 かった ·認知症	保健福祉	业部会		~3月 ~3月	-	開催できた 回開催	認知	症部 给 福祉部	会は定 形会 <i>の</i>	関的に 開催が	開催ができ できなかっ	たが、 た。	高齢者
•										事	中	ř	Ε .	価								
Ø	当年	丰度開	出後、;	約6ヶ.	月が経	過し、	新たり	こ生じ	た問題点	や環境の	の変化	今	成	拡	充			2		⑤	7	レ
												後	果	担州	大維持			3		6	9	
管													の 									
												の	カ 向	縮	小			4		8	10	
理		新	年度の	実施計	画・-	予算要	求事	項(改	革・改善	善策)		方	性	休」	廃止	1						
												向	_			皆	減	縮	小	現状維持	护 拡	大
												性		/		⊐	ス	۲	投ノ	しの方	, 向	性
													_									
	Ī	評価年	度	<u> </u>	当年度																	
		1 点		妥	当		性		有	効	性			效			性		総	合 評 化	西 半	1)定
評	評価	面の観!	九 1	2	3	4	判员	₹ 1	2	3	4	判定	1		2 3	4	判	定		В		
		ェック					4			レ		3					4				****	W 11 7 =
									福祉21 設定を行							いない。	今後		記	計画どおり とが適当	争耒を	進めるこ
価								U 11 11				•								事業の進め 事業規模・		
																			定	の見直しが	必要	
(題																			事業の統合 <u>討が必要</u>	、1杯・	廃止の検
С	Į																		前年度	総合評価判	定	
																				面シート整理		
H	総	4541.0	細	挽		策	m 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	評	価	前				細	施	1	策		評	価	後	ŧ .
Е			一向町	古休性:スケジ	価値可	等の研	πしい 崔認を	郡芸貝 行う。	の顔合れ 今後、男	体的な	い、町	囲の										
		検証を	しなが	ら、現	状の割	価を行	すい、	新たな	目標設定													
С	評	即去で	は、材	にび前	四二四	H7 C6	リ護舗	か進ん	でいる													
K	äŤ																					
	価																					_
		前年	E 度 i	改革	· 改	善第	きの		状 況			Î	可年度	E 細	施策評	価にる	おけ	る今		5 向性 _		
改革	今		細	旅	Ē	策		評	価	前				細	施		策		評	価	後	ž .
•	後	成	拡	充			2	レ	⑤	7			成	拡	充				レ			
改	の	果の	現状	維持			3		6	9			果 ^{····} の	現状	ド維持							
善の		方	縮	小			4		8	10		••••	方	縮	小							
の方向	方	向 性		 尧 止	1)		_		_				向 性		 廃 止							
向	向	-	PIN 13		皆	減	縮	小	現状維	持 拡	<u></u> 大		_	PP .	ж ш 	皆	減	縮	小	現状維持	扩	大 太
性(性				II.	ルルコ ス			現仏相 入 の			`					ルスコース		小 投 <i>7</i>			
Α	改	福祉 2	1高齢	者保健					護を行い							福祉部	会を音	『会長	との協	養を行い第	定を	進め、高
С	革														可上、健 6定関連			安定	等のた	め高齢者保	健福	祉計画を
T												111	:JE 9 (ס ע	R上岗理	真は減る						
I 0	改																					
Z)	善																					
	策																					
문설	々 雪市	価年月		π -1 20	午5日1	7.0		z =1.	工 主 /1	± <u></u>				#4 -	·保険課	_				両 角	勝	元

± 44, 45, 0

事	務事詞	美名	老人ホーム。	入所	措置	事業										事業期	朋間	平成		~		年	度	整理都	野	0301	0403
担	当部	署	健康福祉部			į	也域者	基祉推	進課		ī	5齢者	ተ・ሰ	 護保隊	係	作成担	当者	名	鳥	立	広	樹		連絡	先	33	36
	市	足	プランに					政施	策			第1章 第2節			支えあ			らし	く暮	らせる	まち	づく	Ŋ				
	お	ける	位置づけ	有	政	策体	系	ļ	施策						:介護予		-										
								事	务事業	į	-	_															
計	予	算	事 業 名		段経	-																		01		04 事	
画	事	務事	· 業 の 概 要 _{わかりやすく)}	0 -	-連(の事務	i.								い高齢者												
			と 背 景うして)		k的、 bた		的要	件に。	より、	居宅	にて	生活が	がで	きない	高齢者を	を福祉	事務所	折が指	置し	、老.	人ホ-	ームに	.入.	折させ	養護	する』	必要が
^	目	対	受益者 (誰のために)												入所者、				の家	族、	規族、	扶養	養	務者			
P		象	対象 (直接働きかける)												入所者、	人所"	7疋1	=									
	的	(どん	意図											われる。 所者が	。 美護さ 材	1生活	できる	る状況	ひが維	持さ	れる。						
L A			・ 方 法 やって)	う。 ・ ・	(養 (養	蔓)老 蔓)老	人ホ 人ホ	-ム: -ム;	を退所	fとな fの利	った 用者:	者のi 負担s	退所	措置、加	ムに要 <i>力</i> 施設へ <i>0</i> 務者負担	の入所	委託服	廃止を	· 行う	•				施設へ	の入	所委 言	モを行
			行政活動の	結果	から	つくり	りだす	-もの	は何か	?	指	標	名	称	単位	算出	方法	传·計	算式	• 目:	摽値	设定σ)考	え方な	よど	最終目	標値
N	評	活動	養護老人ホー	_႓	への	入所	昔置カ	く行わ	れる	入i	听措	置人数	枚		人	入所	措置	を行	った.	人数							5
	価指	指標	養護老人ホー	_႓	の退	所措	量が行	うわれ	る	退	听措	置人姜	枚		人	退所	措置	tを行	った。	人数							6
J	標の																										
	作	成	成 果				は				指	標	名	称	単位	算出									ょど	最終目	目標値
	成	果 指	入所者が養 れる	護さ	れ生	活で	きるわ	代況が	維持	^さ 入i	听者	数			人	養護 数)	老人	ホー	ДО ,	入所者	数(年度	末推	置者			48
		標																									

	Į	Į	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	-		(a)	円	98, 459, 304	100, 493, 371	102, 075, 859	100, 934, 199	104, 299, 000
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円	22, 609, 389	24, 819, 872	27, 649, 289	28, 854, 804	22, 448, 000
	訳	一 般 財	源	円	75, 849, 915	75, 673, 499	74, 426, 570	72, 079, 395	81, 851, 000
施	職	正規職	員	人	0. 08	0. 08	0. 08	0. 08	
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 08	0. 08	0. 08	0. 08	
7	7		数						
			(b)						
	È	1 - 1 1 (=,7,7	(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	1, 754. 00	1, 795. 00	1, 830. 00	1, 818. 00	1, 883. 00
			目標	人	10	6	<u>5</u>	5	5
		入所措置人数	実績		10	6	5	5	6
	活		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	120.00
	動		目標	人	9	6	3	6	6
	動指	退所措置人数	実績		9	6	3	6	6
D	標		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
_	175		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	-		_	_
0	-1:	1	目標	人	46	46	48	48	48
	成	入所者数	実績		46	46	48	48	48
	果指		達成率	%	100. 00	100. 00	100.00	100. 00	100. 00
)	指		目標	_					
	標	_	実績						
			達成率	%		_	-	_	-
	備	平成26年度までは、老人	、工一台	人所	置費 のみ。	ロボナムト			
	***	平成27年度からは、老人	、不一厶	人所有	刊正安貝報價質、消料	品賞を含む。			

事剂	务事;	業名 老人	ホー	ム入所	措置事	業							事業	期間	平成	~	年	度 整理番号	03010403
担	当 剖	署健原	福祉	部		地均	【福祉推	進課	高齢者	・介護	保険	係	作成	担当者	名 🧘	立	広 樹	連絡先	336
	期			E	標					身	€ 糸	責					il il	果題	
四	第 1 期	養護老人 養護老人 入所者の 調査を行	、 カ カ 用 用	ムへの	退所措	置を行		新田	と人ホーム 賃負担額、	ムへの <i>刀</i> . 扶養義	∖所推 務者	負	を1名実施 担額の調	もした。 査を実 放	<u>.</u>			_	
半期	第 2 期	養護老人 養護老人 利用者負 養護老人	ホー <i>』</i> 担額、	への退 扶養養	所措置る 務者負担	を行う。 目額を記	央定する。	養護 利用者	を人ホーム を人ホーム を負担額、 を人ホーム	ムへのi . 扶養着	M 務者	置負	を1名実施 担額を決	庖した。				_	
₩ :	第 3 期	養護老/ 養護老/ 入退所料	(ホー	ムへの	退所措	置を行	iう。	養護者	を人ホーム を人ホーム 所判定委員	ムへの追	到所指		を2名実	もした。				_	
٤	4	養護老 養護老 入退所料	トホー	ムへの	退所措	置を行	iう。 iう。	養護者	を人ホーム を人ホーム 所判定委員	ムへの追 員会を開	開催し	た。	を3名実施	を した。 をした。				_	
_O									事	<u>中</u>		平	価		1				
								生じた問題 <mark>計による措</mark> 置						充		(2	5	Ø
管		を強化法、		-π−-Д	·W/\	71 7日 🍱	・サツ付け	こころの指し	三字がじ	ロツ、仏	後	· 朱		維持		(3	⑥ レ	9
											の	7	ᄱᄱ	小		(4	8	10
****		新年	度の	実施計	一画・う	5算要	求事項	(改革・改	女善策)		方	伯]	·····································	①				
理		老人ホ-	-ムス	所者の	措置費	(事務	費、生活	費、各加算	に対する	費用)	向	'-		~ -	皆	減	縮小	現状維持	拡大
	貝拉	3 であり、	受 浸 る	5人小-	ームの人	/川石	数一心し	た予算計上	.⊂9 ත.		性					ルス		スクル 方	が 向性
											土		_			^	ト 1文	Д 00 Л	川工
	į	評価年度	Ē	7	4年度														
	礼			妥	当	ľ	性	有	効	性	_		效		E	性	総	合 評 価	判定
評		面の観点	1	2	3	4	判定	1 2	3	4	判员	Ē	1	2 3	4	判员	Ē	Α	
	チ	ェック		/ 0 1	- 1- to		4	# 12 = 0	31 D 42 0		4		3 = 4		- IM S- 1-	4		: 計画どおり事	*************************************
		養護をかれる。						サービスの	利用が必)安仏石	が増	え.	、人所信	直有致(り増減は	よかない	配	とが適当	
価	課																-	: 事業の進め方 : 事業規模・内	
																	定意	の見直しが必治の見事業の統合、	
	題																並在日	計が必要	5 1 A
С																		を総合評価判別 呼価シート整理番	_
н			細	施	į	策	F	F 価		前			細	施		策	評	価	後
	総	老人ホー	-ム措	置事務	は、老	人福祉	止法によ	り規定。			1		ホーム丼	置事務	は、老	人福祉	法により表	見定。	
E	合	老人不-	-4^	の人所	措直等	の指揮	作に基つ	き措置事務	を打って	int.	1	人	.ホーム/	への人所	措直等	の指針	に基つされ	措置事務を行っ	っていく。
С																			
K	評																		
K	価																		
		前年	度。	改 革	· 改	善策	で 実	施 状 況]	_		前:	年度細	施策評	価に	おける	今後の	方向性	
改革	今		細	施	į	策	F	" 価		前			細	挽		策	評	価	後
#	後	成	拡	充			2	⑤	Q) レ		成	拡	充					レ
改善	の	果 ^{····}	現状	維持			3	6	(9			果の	現状	維持					
の	方	方向	縮	小			4	8	1	0		方向	縮	小					
方向		向 性	休月	 乾止	1							性	休	廃 止					
向性	向	_		_	皆	減	縮	小 現状	:維持	拡	大			_	皆	減	縮小	現状維持	拡大
	性					コス	· ト :	ひ 入 の	方 向	性		_			-	コス	ト投	入の方	向 性
A C	改	養護老人が、早期		·ムで入 所でき)があった ービスセン		「待機者 「終を押		を護べ	老人ホー	-ムで入 し所でき				パあった際、 パスセンター	
Т	革	して、ブ	所に	関わる	書類を	早めに	こ準備す	るようにす	る。		Į	って	、入所に	関わる	書類を	速やか	に準備する	るようにする。	
I	改							ム寿和寮の 利用により										厚和寮の施設∓ 月により、同カ	
0 Z	善善	』 が継続できる。入所者の重度化に伴い、今度介護サービス加算(利用 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・												。入所	者の重	度化に	伴い、今月	を介護サービス	ス加算(利用
	策	料の負担)が必要な利用者多くなることが予想でき、コストについて は、拡大の方針としたい。											放大の7			タヽな	しててか り	7.悠くさ、 コン	~ ric Ju C
是纟	夕証	価年日	1	TT ====00	ÆE 8 1:		旦め	評 価 青	/r ±				THE ALA SEC	- 保险課					n#4 —

事系	8事第		諏訪広域選	合介	護保))	負担	金							事業期間	引平成	16	~		年度	整理番号	03010448
担:	当部	署	健康福祉部	ß		坩	地域福	祉推进	生課		高齢者	・ 介	護保障	険係	作成担当	4者名		立	広	樹	連絡先	336
			プランに 位置づけ		政	策 体	系	政 施 細 が 事務			第1章第2節介護保	市高保険の	齢者(推進。	保健福祉 と介護予	い、その の充実 防の充実 広域連合	!			まちて	さくり		
計	予	算	事 業 名	諏記	方広域	連合	介護		業負担								- I - I		款	03	項 01 目	11 事業 04
画			· 業の概要 ph かりゃすく)	ī.											養保険事							
			と 背 景 うして)	介置合力	で定め	制度 o られ	は、1 てお ^り	号被化り、介	果険者 護保隊	が22% を運!	、2号 営する	被保險	食者が 広域連	(28%、 L合の構成	国が25%、 成市町村の	、県がi として、	2.5% 負担	、市田 金を3	T村(· E払う!	保険者 必要が	f)が12.59 である 。	6と負担割
(目	対	受益者			連合	構成ī	市町村	に居住	Eする1	介護保	険被保	保険者									
P		象	対象 (直接働きかける)																		
	的	(どん	意図な状態にしたいか) 諏記	方広場	連合	構成ī	节町村	に居住	Eする1	介護保	険被货	保険者	が、必要	要な介護*	ナービ	スを受	けるこ	:とが [.]	できる		
L 4			・ 方 法 やって)	諏記	方広場	連合																
			 行政活動σ) 結果	から	つくり	しだす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出力	法・言	†算式	• 目标	票値設	定の	考え方など	最終目標値
Z	評	活動	介護保険事	業負	担金	を支払	3 5			介護係	保険事	業負担	金	円	介護係	険事業	負担的	金の額				661, 746, 252
	価指標	指標																				
	の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指		名	称	単位	算出力	法・言	十算式	・目標	票値設	定のを	考え方など	最終目標値
	成	果指	被保険者が	个護	サー	ビスを	受け	られる	5 ①	保険報 域)	合付費	(諏訂	防広	円	諏訪広	域連合	全体。	として	の保険	食給付	費	
		1#E	被保険者が	・介護	サー	ビスを	受け	られる	52	保険網	合付費	(茅里	(市	円	茅野市	の保険	給付	t .				

	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
			(a)	円	620, 541, 119	658, 090, 853	660, 576, 401	662, 754, 877	738, 111, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財		円					
	訳	一 般 財	源	円	620, 541, 119	658, 090, 853	660, 576, 401	662, 754, 877	738, 111, 000
施	職	正規職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	
状	数	合	計	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02	
7/		対象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_		_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	11, 052. 00	11, 756. 00	11, 844. 00	11, 938. 00	13, 325. 00
		A 200 700 00 - 100 00 100 A	目標	P	000 514 440	050 000 050	000 570 404	200 754 077	
		介護保険事業負担金	実績		620, 541, 119	658, 090, 853	660, 576, 401	662, 754, 877	
	活動指		達成率	%	_	_	_	_	-
	動		目標	_					
	指	_	実績	0.4					
D	標		達成率	%	_	-	_	_	_
	IN		目標	_					
		_	実績	0/					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0	ᆄ	保険給付費(諏訪広	目標 実績	円	15, 458, 390, 295	16, 357, 483, 512	16, 453, 054, 138	16, 416, 204, 473	
	成果	域)	達成率	%	10, 400, 390, 290	10, 337, 403, 312	10, 400, 004, 100	10, 410, 204, 473	_
	指		目標		_	_			
)	標	保険給付費(茅野市)	実績	円	3, 830, 118, 657	4, 038, 779, 859	4, 135, 734, 332	4, 198, 303, 376	
	尓	WISHELD BY (NEITH)	達成率	%	-	4, 000, 770, 000	- +, 100, 704, 002	- 130,000,070	_
			~-/%-	/0					
	備								
	考								
	,								

		業名 諏訪			護保険	_							美期間			~		年度	_			10448
担	当 部	署 健康	福祉部	8		地均	或福祉推進	課高	齢者・介	護保険	係	作月	找担当者	·名		立	広	樹	連絡	先	3	36
	期			F	標					実糸	責							課	題			
				-	- 1734					-								H-1-				
	第 1						金を諏訪広	域 諏訪広域通	合介護係	科険事	集負	担金を潜	おりなくま	ξ								
四	期	連合の構	成市	り村と	して支持	ふう。		払った。														
	741																					
半	第		····	A =## /ID		- 45 40 4	\	1-8		3 80 mir 4	* 42.	#10 A # 11	#11#52#	_								
	2	政切仏場連合の権					世で諏訪仏	域 諏訪広域選 払った。	百기硬化	*映争	表具	担金を入	すりはくス	٠				_	-			
	期	21			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			12720														
期	第																					
	寿						金を諏訪広		合介護例	科険事	準負	担金を潜	帯りなくま	₹				_	_			
2	期	連合の構	成市	り村と	して支	払う。		払った。														
_																						
	第	施制皮板	油本	小猫 但	险車業	各组。	- 大部計 庁			集 4	切全大3	女いナッノゴ	-									
٤	4						正全解初瓜		R FL	四亚飞	かりなくろ	٠				-	-					
	期																					
									泙	価												
Ø	当年	丰度開始很	发、約	6ヶ月	月が経:	過し、	新たに生	じた問題点や	成	拡	充			C	2)	(5		7)	レ		
										-	果					j						
管										後	0	現物	犬維持			(3)	(6	(9	
										の		게임	小			(4)	(8	(10	
		新年	度の	宇施計	- 画	予算要	求事項(では、一つでは、	들)	-				1								
理		771 1	~~~	/ // J		, ,, ,	(11111111111111111111111111111111111111		ζ/		'-			ب								
										回			/	皆	,	減 :	縮	小	現状維	持	拡	大
										性		/			コ	ス	١ :	投 入	の	方	向	性
	Ī	评価年度		븰																		
	裑	見点		妥	当	1	性	有	効	性		交	ታ	率	性	Ė		総合	? 評	価	判	定
評	評価	面の観点	1	2	3	4	判定	1 2	3 4	判员	Ē	1	2 3	3	4	判定	?					
ar	チ	ェック					4			4			L	,		3			· ·	3		
		市町村間	の給付	寸実績	にばら	つきた	があり、元	気な高齢者の	多い茅野	担	まが強し	١,				-		一画どお		きを進	めるこ	
								保険給付費負	担割に給	りがき	夢入され	たが、	今以.	上に輸	合付費	見		ヹが適当 ■業の進		一办盖	が必亜	
価	課	年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 今 成 拡 充 現状維持 の 方向 縮 小 性 休 廃 止 有 効 性 効 率 面の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 対定 1 2 3 3 対定															σ) C: 事	事業規模	・内容	・実	
														定		D見直し 事業の統			止の枠			
^	題													義		対が必要		下)))	エの疾			
С	Ĺ																育	前年度総	合評価	判定		В
																	前	年度評価	シート整	理番号	030	010442
Н	40	***	細	施	i	策	評	価	前			細	胡	Ē	Ė	使	1	评	価		後	
_	総																					
Е	合	るので、	ヴま・	で協議 化道ス	の催認	・まる	とめをもと	に、介護保険	若勺買貝							まとの	のをも	5212,	りで護保	陝和	可實 :	貝担剖
С		100 MAI 19	A 01/) - 	C4012	••				ľ	-	440 I 3 JAC 1	1170 - 117 - 21		0/-0							
Ŭ	評																					
K																						
	価																					
Ĭ		前年	度 改	革	· 改	善策	もの実	施状況	実 施	済	前名	F 度 細	施策	平価(にお	ける	今後	きの 方	向 性			
改	今	ń	細	施	į	策	評	価	前			細	胡	Ē.	Ŷ			评	価		後	
革		成	拡	充			2	⑤	7	レ	成	拡	充									7
改	後	単									果											
善	の	0,	現状約	住持	 		3	6	9		の	块1	犬維持									
o O	方	方 向	縮	小			4	8	110		方向	縮	小									
の方向		1.4	休廃	止	1)						性	休	廃止									
向	向	_		_	皆	減	縮 /	ト 現状維持	拡	大	_			皆	. 21	咸	縮	小	現状維	±±	拡	大
性	性				Į.	コス	•	入の方	加 向 性	^				=				投入			可性	
A	改	導入され	た介	隻保険				割について、		えをは	第 入	された	介護保 隆	給付				費割に				
C	革	引き続き						で給付費割を地		ハき	引き	続き他i	市町村に	働き	かけ	、第7	期以	降で給	付費割	を増り	して	いき
Т	#	たい。								1	とい	•										
I																						
	改																					
0	善																					
) z	善																					
<u>N</u>	善策	価年月日			年5月1			· 価 責 任 i					- 保険調									

事務	事業	Ě名	諏訪広域連	合介	護保険	事務									事業期	間 平成	t 15	~		年度	整理番号	03010446
担:	当部	署	健康福祉部			地均	支福 礼	L推進	課	i	高齢者	・介	護保隊	条係	作成担当	当者名		立	広	樹	連絡先	336
			プランに 位置づけ	有	政贸	策 体 ፺	系 :	政 施 細 施 事務事	策策	02	第 1 章 第 2 節 介護保 介護保	高険の	齢者保 推進と	保健福祉 ☆介護予	い、その の充実 防の充実 広域連合	ŧ			まち	づくり		
Ħ	予	算	事 業 名	介記	雙保険	事務費										会計	コート	00	1 款	03	項 01 目	11 事業 03
画	事務	外事 湯にす	· 業の概要 ph かりゃすく)	介語行		は諏訪	広域	連合が	運営(してお	\$ 9 、 †	構成 市	可村	として、	諏訪広	域連合	規約で	除外	された	介護係		らける事務を
			と 背 景うして)												、下諏制				広域道	皇合と	して、介護	保険を運営
•	目	対	受益者			住む介 住む介																
Р		象	対象(直接働きかける)												. (200) . (5 1. 9						
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	介部第1	要保険 号被係 5問し	に関す R険者 の 、介護	る手)内、 保険	続さか 普通(料を 傷	で 数収の な 収する	なくれ う方、i ること	「え、』 かつ金 : で、₫	必要を融機	ジア護 関等で 二介護	サーヒス で納付 保険料を	くが受け が困難な E納付し	られる。 た方にま ていた:	いて、 だくこ	そのとがっ	者が原 できる	居住し [、] 。	ている場所	等へ徴収員
L 4			・ 方 法 やって)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	更介護 保険給 11号被	付に係	び要る給	支援認付申請	定に信 の受信 通徴収	系る説 付に関 い方、	問調	を等に 事務を	関す		行う。	な方に	おいて	こ、そ	の者が	が居住	している場	所等へ徴収
			行政活動の	結果	からつ	こくりた	ごすも	のは化	可?	指	標	名	称	単位	算出フ	ち法・詩	計算式	• 目	標値設	定のす	考え方など	最終目標値
N	評	活動	介護認定の	申請	が行え	さる 。				8定申	請件数	女		件	茅野市	の介置	認定の	り申請	を受け	ナ付け	た件数	2, 436
	価指	指	介護保険料 口にて対応			こいくた	:め、	訪問	対窓ウ	讨応件	数			件	介護の		スのたと	り、訓	間や	8口に	て対応し	1, 234
J	標の																					
	作成	成	成果	•	効	果し	は	何?	?	指	標	名	称	単位	算出フ	ち法・詩	計算式	• 目	標値設	定の	考え方など	最終目標値
	肞	果指	介護サービ						_	个護給	付費			円		の保険		-				
		標	訪問や窓口 る。	にて	対応し	,、収制	内率カ	(向上	ا ا	又納率				%	介護仍 分保閣	R険料 資料の収	(普通管 以納率	数収ま	よび	寺別徽	収)現年	100

	項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度事業計画(予算)
	事業費等	(a)	円	7, 891, 666	9, 152, 279	9, 909, 638	9, 816, 831	6, 119, 000
貝	」 国庫支出	金	円					
実源	県 支 出	金	円					
,,,	, 地 万	債	円					
訂	一ての他特定期	源	円					
Adv.	- /X X/	源	H.	7, 891, 666	9, 152, 279	9, 909, 638	9, 816, 831	6, 119, 000
施崩	世 規 職	員	人	1. 50	2. 00	1. 50	1. 50	
į,	嘱託職	員	人	4 50	4 50	4 50	4 50	
类	二 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	員	人	1. 50	1.50	1. 50	1. 50	
状		計	人	3. 00	3. 50	3. 00	3. 00	
	対象(者)	数						
_	延利用(者)数 単位コスト(a)/	(b)	т					
<u></u>	1 = 1 1 1 1 1 1 1	(b)	円円	_	_		_	_
況	受益者負担 市民一人当たりのコス	額	円	141.00	163. 00	178. 00	177. 00	110, 00
_	一 氏一人ョたりのコス			2, 301	2, 485	2, 579	2, 640	110.00
	認定申請件数	目標 実績	件	2, 301	2, 485	2, 579	2, 640	
		達成率	%	100, 00	100, 00	100, 00	100, 00	_
~ 清	5	目標		1, 234	1, 234	1, 234	1, 234	
重指	対応件数	実績	件	1, 234	1, 234	1, 234	1, 234	
- 持	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	達成率	%	100.00	100, 00	100.00	100, 00	_
D 桐	Ē.	目標	70	100.00	100.00	100.00	100.00	
	_	実績	_					
		達成率	%	_	_	_	_	_
0		目標	_					
月	介護給付費	実績	M	3, 830, 118, 657	4, 038, 779, 859	4, 135, 734, 332	4, 379, 398, 628	
月	₹	達成率	%	_	_	_	_	_
し措	i	目標	%	100	100	100	100	100
桿		実績		99. 06	99. 18	99. 12	99.00	99. 00
		達成率	%	99. 06	99. 18	99. 12	99. 00	99. 00
備	±	<u> </u>	<u> </u>			•	•	
君	5							

			取訪広域: 建康福祉:		護保隊		或福祉	推進課		高齢	者・介	護保険	係		業期間		15	~ <u>寸</u>		年月	度 整理番号 連絡先		10446 36
	期				目標							実績								課	題		
四四	第 1 期	介護化	呆険事業 呆険料の	におけ 徴収事	る事務を行	を行う うう。	•				する各を行った		き、	申請の	相談、受	ž					_		
	第 2 期		呆険事業 呆険料の				•			と 関係 関係 関係 関係 関係 関係 関係 関係 関係 関係	き、	申請の	相談、受	ŧ					_				
	第 3 期		呆険事業 呆険料の				•		介護保 付、徴		き、	申請の	相談、受	ŧ					_				
بإ	第 4 期	介護化	呆険事業 呆険料の	におけ 徴収事	る事務を行	を行う すう 。	0		介護保 付、徴	申請の	相談、受	ŧ					_						
၈	.1. /		111.46							価													
	当年	中皮開	始後、約	16ヶ	月が経	適し、	新た	に生じ	に問題	品や環			充				2		⑤	Ø			
管												後	σ	, 現1	犬維持			1	3		⑥ レ	9	
												の			小				4		8	10	
理		親	斤年度の	実施記	汁画·	予算要	求事	項(改	革・改	(善策)		方			廃止	1)						
												向		-	/	뉱	i	減	縮	小	現状維持	拡	大
												性		/			⊐	ス	۲	投力	人の方	向	性
		er for fo	- etc		1																		
	<td <="" b="" rowspan="2" style="background-color: lighter; color: lighter; color: lighter; color: lighter; color: lighter; color: lighter; color: lighter; ligh</th><th></th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>-</th><th> 1</th><th></th><th>1 I</th><th></th><th>•</th><th></th><th></th><th>ŧ</th><th>心心</th><th></th><th>ш +1</th><th>疋</th></tr><tr><th>評</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>+</th><th></th><th></th><th>レ</th><th>_</th><th></th><th></th><th></th><th>-</th><th></th><th>_</th><th></th><th>В</th><th></th><th></th></tr><tr><th></th><th></th><th>平成2</th><th>4年4月月</th><th>請か</th><th>ら、軽</th><th>度要介</th><th>護者</th><th>要介記</th><th>1, 2)</th><th>期間の半</th><th>定もで</th><th>きる</th><th>よう</th><th>にな</th><th>_</th><th>A:</th><th></th><th>事業を進</th><th>めるこ</th></tr><tr><th>価</th><td>課</td><td>請件數</td><td>数は、平</td><td>成25年</td><td>こ転じ</td><td>ている</td><td>。要介</td><td>いること
をは、ほ</td><td>せめり
健福祉</td><td>サー</td><td>ア設</td><td>認定<sup>に</sup>
セン</td><td>"> -</td> <td>号 B:</td> <td>事業の進め</td> <td></td> <td></td>														-	号 B:	事業の進め						
		ターで	で行って	いるが	定事務	に関わ	る時間							定		事業規模・日の見直しが	必要						
^	題																		1	義 D:	事業の統合。 討が必要	、休・廃	止の検
С																			-		総合評価判		В
н			細	拼	in	策		評	価		前			細	1	包		策		評	価シート整理: 価	^{銀万} 後	
	総	71 RX P	保険は諏	訪広垣	(連合で	で運営し	してい	るが、	構成市	町村と	して、	諏訪		ditt.		В		ж		RI	imi	<u> </u>	
E	슫		<mark>連合規約</mark> おり、こ																				
С		出の野	受付を行 介護支援	う。																			
K	評	介護者	者のケア	プラン																			
	価	か削減	咸できた	•																			
<u> </u>		前:	年 度 3	女 革	• 改	善角	き の	実 施	状 況		_	j	前4	F 度 細	施策	平価	にお	ける	5 今	後のス	方向性		
改革	今		細	拼	E	策		評	価		前			細	į	包		策		評	価	後	
#	後	成果	拡	充			2		⑤		7		成果	拡	充								
改	の	米の	現状	維持			3		6	レ	9		の	現場	犬維持						レ		
の	方	方向	縮	小			4		8		110		方向	縮	小								
方	つ向	性	休 虏	上	1								性	休	廃止								
Ad.				_	皆	減	縮	小	現状	維持	拡	大			_	旨	E E	減	縮	小	現状維持	拡	大
	477					コス	1 >	投				7 45	_	/D IN-	*	7 /II.		ス			への 方		
$\widehat{}$	性	A =## /r	ㅁ싾ᆂᅏ	~ ₩=	7 /12 15 =	Tobs July -		7 4 0	- Table 1991-		ME 80 7					400	II− 68					NE 120	a A 非
Â	改	7 介護保険事務の効率化やに対策に定る高めるため、事務内容を確認する担介護保																		るため	、争務內容	C WE DO	7 0 12
ACT								るため	、事務	○ 业业人等于 - □ + ルウ物ルレイ > ***********************************													, 0,1
(ACTIO	改革・改							るため	、事務	内容を	WERE 9									るため	、争物内容	C VIE NG	, 0,1
(A C T I O Z	改革・改善							るため	、事務	内容を	WE DO 9									るため	、争物内容	C. VIE BIG	, 01
(改革・改							るため	、事務	内容を	ИЕВО У									<u>ත</u> ැහ	、争物内容	TO WE BO	

事務	事第	Ě名	特別養護老。	人ホ·	ームカ	包設書	を備事	業							事業期間	平成	25	~	27	年度	整理	里番号	030	10450
担:	当部	署	健康福祉部			ţ	也域福	祉推進	課		高齢者	・介	護保険	係	作成担当	者名		<u> 立</u>	広	樹	連	絡先	3	36
担 計 画 (P	市お予事簿現	日 ままり と 対象 事業 状と 対象	プラ で は で ままり で も	発 平同き利 同 快通	及4年の 23年第0 7年第0 7年3年第1 7年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3	策 ル	系 関所が に予用用 活のの	政施細事後20年によった。	策策 策	01 02 02 04 04 が終過 があ、他 ・1 基が た、提供	第1章第2歳のふれる。	お高いのとあいるとの高した。その「し夏ビ	を	を係 クラス かい から	へ、その の充実 方の充実 たの充実 は を を が を が を の を の を の を の の を の の の の の の の の の の の の の	一人 会計: 会数れ を対 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	コード を通し であ がが iを進	ー 5 t	まり、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では	づくり (103) いるたい (103) によいるたい (103) にない (103) に	項 0 d い 1 d d d d d d d d d d d d d d d d d	1 目 使用不 の身体 す。	12 1	李 06 ・ 具合
L			・ 方 法 やって)																					
			行政活動の紀	洁果:	からつ	٠ (ا	丿だす	ものは	何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目标	票値部	设定の	考えフ	ちなど	最終	目標値
	==	活動	整備計画が何	作成	される	5				整備計	一画数			件	整備計	画が作り	成され	た件	数					1
N		動指																						
	指標	標																						
)	の作	成	成果		効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目标	票値割	没定の	考えフ	ちなど	最終	目標値
	成	从果 指		環境:	が維持	寺され	いる			整備実	施率			%	整備完	了箇所	数/整	備希望	2箇所	数				100
		標																						

								正式 0.0 左左 / 7 左	
	Į		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	Į.	, ,, ,,	(a)	円	9, 975, 000		42 , 303, 600		
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地 方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	9, 975, 000		42, 303, 600		
施	職	正 規 職	員	人	0. 03	0. 05	0. 10		
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人	0. 01				
状		合	計	人	0. 04	0. 05	0. 10		
	Ż		数						
	3		(b)						
	È		(b)	円	_	_	_	_	_
況	5		額	円	170.00		750.00		
		「民一人当たりのコス		円	178.00	_	758. 00	_	
		the late of Land Man	目標	件			<u> </u>		
$\overline{}$		整備計画数	実績 達成率	%	100, 00	_	100, 00	_	_
	活			9/0	100.00		100.00	_	
	動	_	目標 実績	_					
	動指		達成率	%	_	_		_	
D	標		目標	70	_	_	_	_	
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_		_	_
0			目標		100		100		
	成	整備実施率	実績	%	100		100		
	果		達成率	%	100, 00	_	100, 00	_	_
	果指		目標						
	標	_	実績	_					
	1/1		達成率	%	-	_	-	_	_
	備								
	1/用								
	考								

		養名 特別			一厶雁			124 MM	ı		A ==40		_		業期間				27		整理番号		010450
担	当部	著煙房	福祉部	\$		地均	其福祉推	進課		高齢者	・介護	保険	係	作	成担当	4 者名		立	広	樹	連絡先		336
	期			E	標						美	ミ 絹	Ę							課	題		
_	第	ふれあし	の里に	おい	て、施言	殳整備	内容につ	ou .	ふれあい	の里に	おいて	、施言	殳整	備内	容につ	ハて							
四	1 期	て検討。							検討。											_	_		
	75/1																						
半	第																						
	2	ふれあし	の里と	施設	整備内	容につ	いて協調		ふれあい	いの里と	容	こつい	て協議	•				_	_				
	期																						
期																							
		TT ===================================			Htt: I				平成29年	F度には	の³	予定は	ないた	め、									
_		平成29=	F度の別	也設盤	開して	ריינן	7异安米。							•				-	_				
=	刔																						
	第																						
ے	4		いの里に	おい	て、施調	艾整備	内容につ	ייי															
	期	CIRCIO																					
										Ţ	価			1									
Ø	<u> </u>	F使開始	後 約	6 +	日が終	温!	新ナー!ー/	生じた	-問題占	٠.		_	Į.		: /	•	:						
	= 1	一区所知	区、 利	07)	コル・雅	心し、	利にに	上し/3	- 四起从	に塚児	今			. 3	Ċ		(3)		5)	7		
#											後			状維持	寺		(3		⑥ レ	9		
E.														š ,	lv		C	<u>a</u>)		(8)	10		
		±r /-	中の「	□ + /=	Liter .	マ 竺 尹	出古石	(34 t	보 그는 그	<i><u>←</u></i>	向]					<u></u>		~	TW.			
理	\$. do								₽゜以君	表		方	性	- 休	、廃 ⊥	E (1)						
	A314 (-070.075			盛っ っ	· P ST	ጀ ጥ ፫ 1 I	70				向					皆	減	縮	小	現状維持	拡	大
												性						ス	١ :	投入	の方	向	性
										_						10 /	. ,,	1.3	1-				
	ī	评価年度		횔	4年度																		
	# 中														5 判	定							
		•	1				.—	1		1 1					?	JAC. F	- HI IM	4 13	~				
評					<u> </u>	•			+ -		+	•	_		<u> </u>		=		Α				
	<u> </u>		の体型	明訴組	▲20年	DI E-A		ほと	4. PO	心性 :	単型よく		F #h	大級	風 1 42	 7	CI \ Z +			ΙΔ·	計画どおり雪	異業を	∉めるこ
		合箇所0	の施設	計けで	なく、	新しい	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-62	んこめば	できる	よう、	施設	整体	備を検	討する	必要	がある)	āL	: :	とが適当		
価																		_					
		新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) あいの里との協議に基づき、予算要求を行う。 本のでは、表がでのでは、表ができるよう、施設整備を相対できるよう。 「おいののでは、表ができるよう。 「おいのできるよう。 「おいのでは、 「おいのでは、 「いんできるよう。 「おいのでは、 「いんできるよう。 「いんできるよう。」 「いんできるよう。 「いんできるよう。」 「いんできるないできる。」 「いんできるないできるないできるないできるないできるないできる。」 「いんできるないできるないできるないできるないできるないできるないできるないできるない																					天心工 冲
^	==	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) れあいの里との協議に基づき、予算要求を行う。 対象を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を																	義			休・月	廃止の検
	趄	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) カカいの里との協議に基づき、予算要求を行う。 「性」 「性」 「特性」 「特性」 「特性」 「特性」 「特性」 「特性」																	自			定	Α
C																							
н			細	旃	ī	笛	1	Ę.	価	1	iπ			細		施		笛				後	
	総											多 7	居								いても支障		供でき
E		るように	、施討	2整備	を行う	必要	がある。	,,			JEK C	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	ぶ	うに、	施設	を備る	行う必	要が	ある。	,,,			
	合																						
С	===																						
12	評																						
K	価																						
)	іш	前年	度 改	革	• 改	善等	きの実	施	状 況	- #	多美力	植育	前左	年 度 絹	田施策	: 評 (而に お	いける	今後	きの ナ	f 向 性 🔔		
과						策	F		-					細		施		策				44	
改革	今		細	施	3	束			価	- :	iii <u> </u>							來		抨	価	後	
-	後	戍	拡	充			2		⑤	7)		成	拉	5 3	č							
改善		果 ^{·····}	現状維	辪			3	ľ	6	9)		果の	玗	! 状維持	ŧ							
	の	方	縮	小			4	i.	8	Œ			方	絲	音 /								
の	方	向			ļ		•		9	U	ν 		向										
血	向	性	休廃	止	1	レ							性	- 付	廃」	Ė	レ	[
の方向性	性				皆	減	縮	小	現状維		広 ブ	t					皆	減	縮	小	現状維持	拡	大
$\widehat{}$	ΙŢ	_				コス			、 の フ		性		_	_							、の 方	向	性
A	改			:引き	続き今	後の加	包設整備	につし	いて、協	護、検	討を行						き今後						を行る
C	革	ていく。										ا	•	フ仮虫	ビ州カリ	少安と	.ゅつだ	-梅古	ムーノ	、巾唱し	して施設維	r y 1~9	ないる。
I	•																						
0	改																						
N	善																						
	策																						
	々 雪亚	価年月日	31	成20	年5月1	5 P	是 終	証 研	i 責 任	老				宣告	令者·保	除理					両 角	勝	元
最多																							

事	務事詞	業名	養護老人ホ-	-ム ;	施設管	會理事	業							1	事業期間	平成	23	~		年度	整理番号	03010408
担	当部	署	健康福祉部			地	域福	祉推進	鰈		高齢者	・介	護保険	(条)	作成担当	者名	鳥	立	広	樹	連絡先	336
計画	市お予事業	民ける第二次	プランにけ 一を 事業の で も た か と 背 是 こ 、 し で で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 の で 、 の で り の で り た り の で り の と り の と り の と り と り と り と り と り と り	茅い現づ指	を を を を は を は た 連 間 に に に に に に に に に に に に に に に に に に	策体・ホース・社会を行った。	系が、独立では、独立では、	政施細事管護人いめ、	策策策業・大会間	02 02 05 -ムと: 指定し	第1章第2箇分護係	お高のの	互いに 齢者保 推進を ラームの を に を に を に を に を に を に を に を に り に り に	支えあし健福祉の介護予防理事業 件設型のごと業務のご	い、その。 ウ充実 方の充実 施設で、 運営に加	人らし 会計: 平成20 え、近	コード) 年4月 i隣の ^は	001 から 地域と	まちつ 款 お定 記 の交	づくり 03 : 23 : 33 : 34 :	項 01 目による業務	04 事業 05 5 <mark>運営をして</mark>
PLA	目的手	務事業の概要 現在は、社会福祉法人平 切いた運営を行っている 指定期間は5年のため、 は と 背 景 ど う し て) 要 益 者 (注のために) タ (直接働きかける) 意 図 (どんな状態にしたいか) 施設設備の修繕等を計画								で、I]上につ iい、フ	民間の。 つなげる 人居者が 公募及で	ノウィるが快通が選ぶ	ヽウを記 適に生活 2を行う	舌用した:	環境を維	持する	•				- な発想に	よる手法によ
Ν	評価	活動指	行政活動の紀 実績報告を予 修繕の実施			o ()	だす	ものは		指 実績報	標 標	名数	称	単位	算出方 実績報 修繕の	告を受	けた回	数		定の参	考え方なと	最終目標値 1 1
J	指標の作成	標成果指標	成果快適な居住の	- 環境:	効が維持	果 すさ れ	は る	何	?	指 整備 罗	標	名	称	単 位 %		法・計	算式	• 目根	票值設		考え方など	· 最終目標値 100

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度事業計画(予算)
			(a)	円	1, 008, 000		993, 600	583, 426	290, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	1, 008, 000		993, 600	583, 426	290, 000
施	職	正規職	員	人	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10	
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10	
7		対象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	18. 00	-	18. 00	11.00	5. 00
			目標			1	1	1	1
		実績報告回数	実績		1	1	1	1	1
	活		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	動		目標	件	1		1	1	1
	動指	修繕数	実績		1		1	3	1
D	標		達成率	%	100.00	_	100.00	300.00	100.00
	尓		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
0	_1.		目標	%	100		100	100	100
	成	整備実施率	実績		100		100	100	100
	果指		達成率	%	100. 00	_	100.00	100.00	100.00
J	指		目標	_					
	標	-	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
	備								
	考								

	多事 3 当 部	業名 養護を 3 署 健康福		. 他設官		福祉推進	£ ###	高齢者・	人类/2	100 /E		業期間 成担当			~ <u>寸</u>		_	整理番号 連絡先		10408 336
担) 有 健康作			吧嶼	抽红推准	林	同町1日。			TF	-	旧石		<u>и</u>				•) J J
	期			目標					実	績						Ī	果是	<u> </u>		
四	第 1 期	施設不具合 箇所がある 理者と打合	場合、内	容の決定				合箇所の	有無の	の確認	l.						_			
半期	2	施設不具合 箇所がある 理者と打合	場合、内	容の決定				合箇所の	有無の	の確認							_			
₩ :	3	施設不具名 箇所がある 理者と打合	場合、内	容の決定				合箇所の	有無 ₫	の確認	l.						_			
٤		給油ポンプ プ部品取替 替え修理を	え修理、				ポン 給油ポン 部品取替 修理を行	え修理、	ング交 暖房用	換作詞 循環	≹、床暖 ポンプŧ	そ	ペンプ 替え				_			
•		•					•	事	中	評	価		•							
Ø							じた問題点			今 5		3	ž		2)	⑤		7	
							寿和寮)、ボイ		の床	, <u>,</u> 5	₽ <u>.</u>	!状維持	 ±		3		6		9	
管							νの床の腐食 処していく必動			後って			·····						ļ <u>.</u>	
									(のぱ		/	١١		4)	8		10	
理	11.66						(改革・改善			方巾	生体	. 廃 ⊥	L (1)						
							寿和寮)につし 実施していく。	いては、平	- AUK.	向			_ <u> </u>	当 注	咸 糸	诸 小	り現	状維持	拡	大
							つけて随時対	むしていく	•	性				⊐	スー	> 投	入	の方	向	性
	-	評価年度		当年度	1															
	_	見点	妥	当	性	Ł	有	効	性			効	率	性		総	合	評価	判	定
		の観点	1 2	<u></u> 3	4	判定	1 2	3 4		定	1 1	2	3	4	判定	小心		ат ш	Ţij	Æ
評		エック		+ -	•	4	1 2	<u>ر</u>		3				-	4	1		В		
価(C	課題	市と指定管の設定とな			て使用	料を決め	か、請求して	いるが、	実績報	告、	修繕予	定等を	参照し	ンての を	使用料	記号の定義 D	と 事業 : 事 : 計	が、これでは、	に改善 容・実 要 休・廃	きが必要 ≷施主体
																前年度	評価シ	一ト整理番	号 03	010410
Н	40	細	ħ	包	策	評	価	前			細		施	ラ	ŧ	評		価	後	
Е	総						備等不具合か †画的に改修			平月	118年0	建て	すえ後	、9年か	(経過	し、施設は無ち	と・設・水土・	備等の劣 、計画的	化やる	はなった
_	合						「国的に収修 と受け、協議			える	らよう、	引き網	売き指	· 政備 定管理:	かんほ	の定期	増まれ	と、計画の	かには	護を行
С		たい。								うこ	: 221	たい。								
14	評																			
K	価																			
)		前年度	さ 改 革	· 改	善策	の実	施状況	一部	実 施	前	年度和	田施策	評 佃	にお	ける	今後の	方 向	1性		
改革	今	細		 包	策	評	価	前			細		施	9	ŧ	評		価	後	
革		成 拡	充			2	5	7		成	扐	5 方	Ē							レ
改	後	果	状維持		į.	3	6 L	9		果		! 状維持	 							
改善	တ	b			į.					の方										
の方向	方	向		<u> </u>		4	8	10		向										
向	向	性相	· 廃 止	(1)						性	- 17	廃业								
性	性			皆	減 コ ス		小 現状維 : 入 の フ		大 ŧ							宿 小 ト 投		l状維持 の 方	拡向性	大 _生
(4 0 1	改革	使用料の見負担を考えを構築する	とていく。	oいて、 施設運	従来の	施設使用	. 八 <i>の)</i> 月料に加えて かた内容で協	施設改修	費用の	使用		ロえてカ	色設改	施設等(修費用)	の使用 の 負 担	料の見 を検討	直しに してい	ついて、 ついて、 いく。施言 がある。	従来	の施設
T	•	C10747	, x2r 35; 13 · 0	- • •						日常	点検に	おいて	C、外	周のべ	ランダ	周辺の	排水σ	水漏れが		
0	改													の床暖 と考え		水用給:	水ポン	プの改作	፞が見	込まれ
N)	善策									37.		· 1 *18 4	, x., x.	_ 	••					
是多	終 評	価年月日	平成29	年5月1	18 l	最終 影	平価 責任	者	_		富齡	者·保险	金課長		_		両	角	勝	귀